

ウイルスバスター™2010

ガイドブック

インストールの方法

8ページへ

基本的な使いかた

22ページへ

メッセージが
表示された

42ページへ

無料でバージョン
アップしたい

40ページへ

新しいコンピュータ
を買った

32ページへ

インターネットが
繋がらない

50ページへ

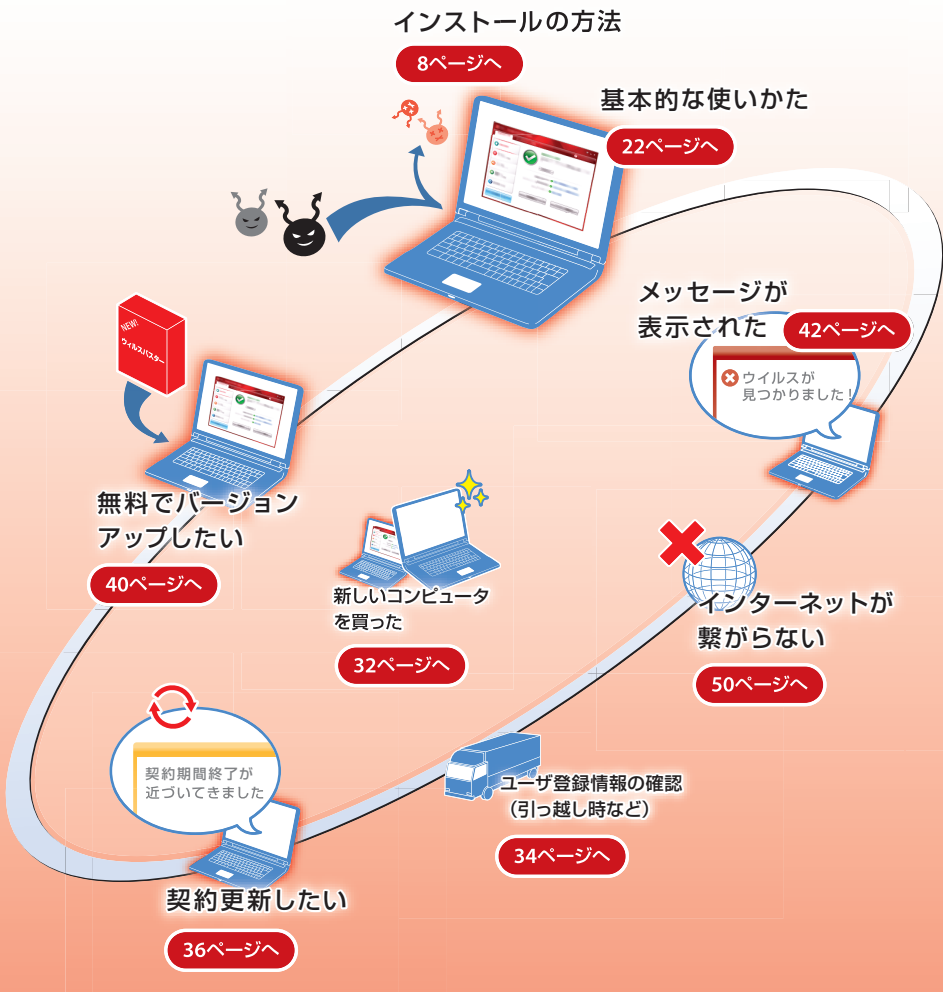
契約期間終了が
近づいてきました

契約更新したい

36ページへ

ユーザ登録情報の確認
(引越し時など)

34ページへ



ウイルスバスター 2010へようこそ！

ウイルスバスター 2010は、初級者から上級者までの幅広いニーズに対応した、軽くて早い高性能な総合セキュリティ対策ソフトです。ウイルス、スパイウェア、ネット詐欺、不正侵入など、さまざまな脅威からあなたのコンピュータを保護します。



各種機能のカスタマイズに対応

本製品は、以下の機能を持っています。それぞれに対して細かいカスタマイズが可能です。

- ・ ウイルス/スパイウェア対策
- ・ パーソナルファイアウォール
- ・ 有害サイト/迷惑メール対策
- ・ 契約更新/その他

その他のツール

便利なツール

コンピュータを最適化する「システムチューナー」や、WebブラウザやWebメールをより安全に使うための「Trend ツールバー」などの便利なツールを利用できます。



検索開始(S)

総合ウイルス対策

本製品はコンピュータの状態を監視し、ウイルスやスパイウェアへの感染を防ぎます。

また、ウイルスやスパイウェアなどの検索を手動で実行できます(28ページ)。



さまざまな脅威への総合的な対策

本製品はウイルスだけでなく、さまざまな脅威からコンピュータを保護し、安全性を色とアイコンでお知らせします(24ページ)。



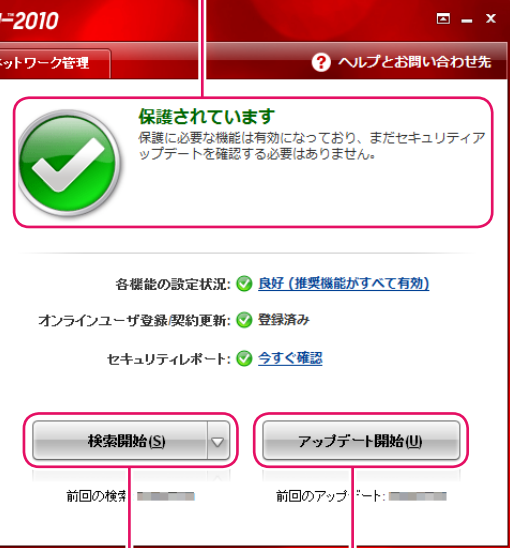
正常な状態です。



最新の状態ではありません。



正常な状態ではありません。



アップデート開始(U)

最新のパターンファイルで脅威に対応

最新のパターンファイルで、新しい脅威にも対応します。

また、その時点で最新のパターンファイルに手動でアップデートできます(26ページ)。

本書のご利用方法

本書では、Windows版ウイルスバスター 2010のインストール方法や基本的な使いかた、困ったときにお読みいただきたい情報を掲載しています。

ウイルスバスター for Macの詳細については以下のWebサイトをご確認ください。

<http://VirusBuster.jp>

インストール

本製品のインストール方法を解説します。

内容物(パッケージ版のみ)や動作条件、インストール、オンラインユーザ登録など、本製品を使えるようにするための手順を解説します。

基本的な使いかた

本製品の基本的な使いかたを解説します。

メイン画面の表示方法やウイルスなどのチェック、最新の脅威に対応するために必要なアップデートの方法などを解説します。

こんなときは／よくあるお問い合わせ

本製品の利用で困ったときにお読みいただきたい内容です。

メッセージが表示されたときやトラブルのときにご確認いただきたい情報を掲載しています。

本書の記載内容について

本書は、店頭やダウンロード販売店などでウイルスバスター 2010をご購入になったお客さま向けに作成されています。

本書に記載されている内容の一部には、ウイルスバスター 2010の利用形態(ウイルスバスター月額版、期間限定版、レンタル版など)によっては利用できないサービスの情報が含まれています。あらかじめご了承ください。

本書のマークについて



本製品を使用するうえでの、重要な情報を説明しています。



補足事項や便利な情報を説明しています。

困ったときはこちらをご覧ください

本書で問題点が解決しない場合は、巻末の情報もご覧ください。

目次

ウイルスバスター 2010へようこそ！	2
ウイルスバスター 2010について	6

インストール

インストールの前にお読みください	8
インストールをはじめましょう	10
インストールする	14
オンラインユーザ登録をする	18

基本的な使いかた

本製品の起動とメイン画面の表示	22
本製品の画面構成	24
アップデートする	26
ウイルスやスパイウェアを検索する	28

こんなときは

<インストール>2台目以降のコンピュータにインストールする	32
<メールアドレスや住所などの変更>登録情報を確認・変更する	34
<契約更新>契約を更新する	36
<毎年/newバージョン発表>無料でバージョンアップする	40
<トラブル>メッセージが表示されたときは？	42
<トラブル>インターネットへの接続で困ったときは？	50

よくあるお問い合わせ

インストールについて知りたい	54
コンピュータを買い換えたときに必要なことは？	54
ユーザ登録情報の確認・変更について知りたい	55
契約の更新について知りたい	57
無料バージョンアップについて知りたい	58
困ったときの対処について知りたい	59
Windowsの再インストールやリカバリーのときに必要なことは？	59
期間限定版から製品版への移行について知りたい	63
用語集	64
索引	70
本製品のお問い合わせ先	72
問題解決に役立つ情報源	74

1 ウイルスバスター 2010について

ウイルスバスター 2010は、より安心、より軽快な操作性を実現するため、さまざまな機能を持っています。ここではその一部をご紹介します。

「安心」の総合セキュリティ

ウイルスバスター for Mac登場

ウイルスバスター 2010に同梱されている「ウイルスバスター for Mac」でMacにもセキュリティ対策を行えるようになりました。WindowsとMac、どちらのOSを使用しているても、ウイルスバスターで「安心」の総合セキュリティをご提供します。

！ご注意

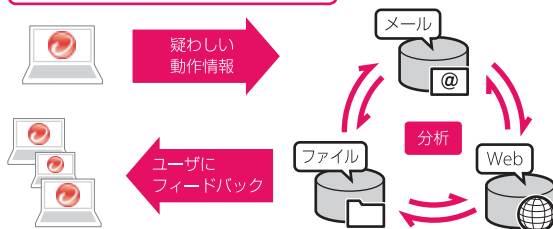
- ・ 搭載OSが1種類のみのコンピュータの場合、どのような組み合わせでも3台までインストールできます。
- ・ ウイルスバスター for Macについて詳しくは、以下のWebサイトをご確認ください。
<http://VirusBuster.jp>

日々増加する、あらゆる脅威にすばやく対応する スマートプロテクションネットワーク

トレンドマイクロでは、ユーザから送信される危険なメールやWebサイト、ファイルに関わる評価情報を蓄積しています。ユーザから送信された情報は、それぞれに関連性がないかを考えながら分析され、新しい脅威にすばやく対応するための情報として活用されます。

たとえば、危険なメール（スパムなどの迷惑メール）に含まれているURLやファイルは、危険なメールのデータベースだけでなく、危険なWebサイトやファイルのデータベースにも迅速に反映されます。このような情報の連携により、新しい脅威のよりすばやい発見と対応を実現します。

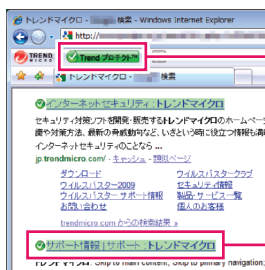
スマートプロテクションネットワーク概要



WebサイトやURLの安全性を色でお知らせ

Webブラウザ

「Trend プロテクト」は、Webブラウザで表示されているWebサイトや、検索結果に表示されているURLの安全性を色別に表示するので、危険の回避に役立ちます。



Webサイトの
安全性を色で
表示

URLの安全性
を色で表示

Webメールやインスタント メッセンジャー

「URL付きWebメールの評価」や「メッセンジャーのURL評価」は、送られてきたWebメールやメッセージに記載されているURLの安全性を色やメッセージで表示するので、危険の回避に役立ちます。



URLの安全性
を色で表示

「軽快」の総合セキュリティ

コンピュータを定期的に最適化して動作速度を改善

「システムチューナー」を利用すると、長期間の使用によってシステム領域やレジストリに蓄積された不要なデータを一掃できます。

削除されずに残された一時ファイルや孤立したレジストリデータの削除に加え、Webページの広告に使われるクッキーの削除や最近開いたファイルの記録の削除にも対応しています。

また、「予約チューニング」を設定することで、毎月決まった日時にシステムチューナーを実行し、コンピュータを最適な状態に保ちます。

全画面サイレントモードでコンピュータ操作中の動作を制御

コンピュータを操作しているときやDVDを再生しているときなど、コンピュータが何らかの処理を行っているときは、予約検索やアップデート、ポップアップメッセージの表示を保留し、邪魔になりません。

2 インストールの前にお読みください

インストールの前に、インストールの流れや本製品の特徴についてご確認ください。

インストールの流れ

本製品のインストールの基本的な流れは以下のとおりです。

1. 内容物(パッケージ版のみ)と動作条件を確認する

はじめに内容物と動作条件を確認してください(10ページ)。
内容物はパッケージの種類によって異なるのでご注意ください。

2. 本製品をインストールする

14ページからの手順に従って本製品をインストールします。

3. オンラインユーザ登録をする

インストールに続いて、オンラインユーザ登録を行います。18ページからの手順に従って手続きを行います。
オンラインユーザ登録が完了すると、アップデートを行えるようになります。

4. ウィルスやスパイウェアを検索する

インストールが完了したら、アップデートを行い(26ページ)、ウィルスやスパイウェアの検索を行ってください(28ページ)。本製品のインストール前に侵入していたウィルスやスパイウェアがある場合、この検索で発見、処理できます。

以上でインストールの手順は完了です！

本製品の特徴

本製品は、ワープロソフトや表計算ソフトなどの一般的なソフトウェアではあまり見られない要素を持っています。これらの要素についてご理解いただき、本製品を活用してください。

1つのシリアル番号で3台のコンピュータにインストールできます

本製品は、1つのシリアル番号を3台のコンピュータで利用できます。使用頻度が低いなどの理由でセキュリティソフトを導入していなかったコンピュータでも安心してお使いいただけるようになります。



4台以上のコンピュータをお使いの場合は、シリアル番号を追加購入すると、さらに3台のコンピュータで利用できます。

！ ご注意

3台のコンピュータにインストールできるのは、1台のコンピュータにOSが1つの場合です。詳しくは、パッケージや使用許諾契約書をご覧ください。

有効期限があります

本製品のシリアル番号には、有効期限があります。有効期限はお買い上げいただいた製品により異なり、オンラインユーザ登録後、1年、2年、3年のいずれかとなります。有効期限が切れると、本製品およびサポートサービスを利用できなくなります。有効期限が切れる前に契約更新を行い、有効期限を延長してください(36ページ)。



有効期限内のバージョンアップは無料です

有効期限内に新製品が発売された場合は、無料でバージョンアップできます(無料バージョンアップはインターネットからのダウンロードに限ります。なお、ダウンロードにともなう通信費はお客様まで負担となります)。新製品をトレンドマイクロWebサイトからダウンロードして、バージョンアップしてください(40ページ)。

3 インストールをはじめましょう

はじめに本製品の内容物(パッケージ版のみ)と動作環境についてご確認ください。

本製品の内容物

パッケージ版をお買い上げいただいた場合は、はじめに内容物を確認してください。内容物に不備があった場合は、恐れ入りますがウイルスバスターラブセンターまでお問い合わせください。

なお、内容物はパッケージの種類によって異なります。マニュアルを単品でお買い求めになった場合、CD-ROMや使用許諾契約書などの付属物は同梱されていません。

ヒント

- ・ 更新パックをお買い上げいただいた場合は、付属の「更新パックガイド」を使って内容物を確認してください。
- ・ CD-ROMドライブがない場合は、「ウイルスバスター 2010 CD-ROMドライブがない場合のインストール方法」(<http://www.trendmicro.co.jp/minipc>)をご確認ください。



インストールCD-ROM

本製品のインストールに使用するCD-ROMです。

* 「ウイルスバスター for Mac」もあわせて収録されています。
詳しくは、<http://virusbuster.jp> をご確認ください。



CD-ROMジャケット

インストール時に使用する「シリアル番号」が記載されています。



ガイドブック(本書)

インストール方法やオンラインユーザ登録の手順など、使い始めるまでに必要な情報が記載されています。



使用許諾契約書

本製品の使用条件が記載されています。インストールの前に必ずお読みください。

本製品の動作環境

本製品をインストールするには、次の環境が必要です。

対応OS

- Windows 7 Ultimate / Professional / Home Premium / Starter Kit
- Windows Vista Ultimate / Business / Home Premium / Home Basic
(Service Packなし、Service Pack 1、およびService Pack 2に対応)
- Windows XP Home / Professional / Media Center / Tablet PC Edition
Service Pack 2、3
 - * いずれのOSも日本語版のみの対応です。
 - * Windows XP Professional x64 Editionには対応していません。
 - * Windows 7およびWindows Vistaは、32ビット版と64ビット版に対応します。
 - * 記載されていないOS (Windows 95 / 98 / Me / NT / 2000、Mac OSなど)では使用できません。
 - * Boot Campやエミュレータを使用したWindows環境には正式対応しておりません。

CPU

- Windows 7、Windows Vistaの場合：Intel Pentium 800MHz(1GHz以上を推奨)
- Windows XPの場合：Intel Pentium 450MHz(800MHz以上を推奨)
 - * このバージョンのウイルスバスターは、上記CPUと同等の互換CPUが搭載されているコンピュータに対応します。インテルのハイパースレッディング対応CPU、およびデュアルコアプロセッサやクアッドコアAtomプロセッサにも同様に対応します。

メモリ

- Windows 7、Windows Vistaの場合：512MB以上(1GB以上を推奨)
- Windows XPの場合：256MB以上(1GB以上を推奨)

ハードディスク

- 500MB以上のハードディスク空き容量
 - * RAID-0 / RAID-1に対応。その他のRAIDレベルはサポートしていません。

ディスプレイ

- 解像度1024×576以上、High Color(65536色)以上

Webブラウザ

ウイルスバスター 2010をご利用になるコンピュータに、以下のいずれかのWebブラウザをインストールすることをお勧めします。

- Microsoft Internet Explorer 6.0 Service Pack 2以上(Microsoft Windows XPの場合)
- Microsoft Internet Explorer 7.0
- Microsoft Internet Explorer 8.0

各機能に対応するソフトウェアとサービス

本製品の各機能は、次のソフトウェアおよびサービスにおいて正しく動作することを確認しています。記載されていないソフトウェア、またはサービスをご利用の場合、各機能の動作はサポート対象外となります。

送受信メール検索に対応するメールソフト

- Microsoft Outlook Express 6.0 Service Pack 2
- Microsoft Outlook 2000、2002、2003、2007
- Mozilla Thunderbird 1.5、2.0
- Windows メール(Windows VistaまたはWindows 7)
- Windows Live メール

Webメール検索に対応するサービス

- Yahoo!メール
- MSN Hotmail / Windows Live メール
- AOLメール
- Google Gmail
- * Microsoft Outlook Express、Microsoft Outlook、またはMSN Explorerを使ってHotmailを受信する場合、Webメール検索の対象にはなりません。

迷惑メール対策ツールバーに対応するメールソフト

- Microsoft Outlook Express 6.0 Service Pack 2
- Microsoft Outlook 2000、2002、2003、2007
- Windows メール

個人情報保護機能に対応するインスタントメッセージ

- AOL インスタント・メッセージ 5.1
- ICQ 5.1、6.0、6.5、ICQ Lite
- Windows Live Messenger 8.1、8.5、9.0
- Yahoo!メッセージ 7.0、9.0

メッセージ検索に対応するインスタントメッセージ

- Windows Live Messenger 8.1、8.5、9.0

！ご注意**インターネット接続**

本製品では、オンライン登録などの製品を有効にする手続き（アクティベーション）、有効期限の確認、ファイルのダウンロード、不正プログラムに関するフィードバックの送信、迷惑メール対策ツールバーのクエリの送信、オンラインデータベースサービスとスマートプロテクションネットワークの情報の送信、セキュリティ情報の入手、リモートファイルロックの同期などの機能のご利用、またはトレンドマイクロのWebサイトへのアクセスにインターネット接続環境が必要です。ブロードバンド環境を推奨します。

ダウンロードしたデータ量や接続時間に応じた従量制により接続毎に課金されるダイヤルアップ接続などでインターネットに接続する場合は、過剰な接続料金を請求されないように、ルータや接続ソフトウェアが、上記の機能により自動的に接続を開始しないように確認してください。ルータのマニュアルに従って、ルータ設定を必要に応じて編集してください。

なお、インターネットのご利用にあたっては、インターネットプロバイダへの加入、およびプロバイダ各社に対応したモデムまたはターミナルアダプタが必要です。また、インターネット接続に伴う通信費は、お客さまのご負担となりますので、ご了承ください。

競合するソフトウェアについて

すでに他のセキュリティ対策製品（ウイルス対策、ファイアウォール）をお使いの場合は、これらの製品をアンインストールしてから本製品をインストールしてください。ウイルスバスター 2010のインストール前にアンインストールを必要とするソフトウェアについては、次のWebページをご覧ください。

<http://esupport.trendmicro.co.jp/Pages/JP-2075255.aspx>

パーソナルファイアウォール機能を利用する際には、Windows付属のファイアウォール機能も含めた他社のファイアウォール製品を無効にすることをお勧めします。

製品利用に関するご注意

- ・ 動作環境（システム要件）に記載されているOSの種類やハードディスク容量などは、OSのサポート終了、弊社製品の改良などの理由により、予告なく変更される場合があります。
- ・ 必要メモリ容量、およびハードディスク容量は、システム環境によって異なる場合があります。
- ・ ウイルスバスタークラブ会員契約期間の終了後も本製品を継続使用する場合は、別途年会費が必要です（製品のご利用形態によって、年会費のお支払い時期が異なる場合があります）。
- ・ 本製品をお使いになる前に、使用許諾契約書を必ずお読みください。
- ・ 製品の仕様は予告なく変更される場合があります。

本製品動作環境の詳細および最新情報は下記Webページをご確認ください。

<http://VirusBuster.jp>

4 インストールする

付属物の確認(パッケージ版のみ)と動作環境の確認が完了したら、インストールを行います。

インストール前に以下のものをご用意ください

パッケージ版をお使いの場合

- ・ 本製品のCD-ROM
- ・ シリアル番号(CD-ROMのジャケットに記載)

ダウンロード版をお使いの場合

- ・ 本製品のインストールプログラム
- ・ シリアル番号

ヒント

- ・ ダウンロード版をお買い上げいただいた場合、インストールプログラムの入手方法やシリアル番号については購入時に販売店から送られるメールなどで確認してください。
- ・ バージョンアップの場合、ウイルスバスタークラブ会員の契約期間中であれば、以前のバージョンで使っていたシリアル番号をそのまま利用できます。また、インストールプログラムは個人のお客さまサポートWeb(<http://tmqa.jp/r900/>)で入手できます(40ページ)。

インストールする

ご注意

- ・ 更新パックをお使いの場合は、インストール前に「更新パックガイド」の手順に従って更新手続きを行ってください。
- ・ 他社製のセキュリティ対策製品がインストールされている場合は、あらかじめアンインストールしてください。
- ・ インストールの前にすべてのアプリケーションを終了してください。

1 本製品のCD-ROMをCD-ROMの読み取りが可能なドライブに挿入する。

[ウイルスバスター 2010]画面が表示されます。

ヒント

ダウンロードしたインストールプログラムでインストールする場合

ダウンロードしたインストールプログラムをダブルクリックして[ウイルスバスター 2010]画面を表示してください。

また、[セキュリティの警告]画面や[ファイルの保存場所]画面が表示されたときは、画面の指示に従って処理を選択してください。なお、「プログラムのみ」と表記されているインストールプログラムをダウンロードした場合は、インストールプログラムの実行後、手順3から操作を行ってください。

2 [インストールする]をクリック。



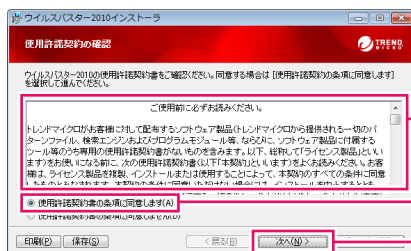
[インストールする]

[使用許諾契約の確認]画面が表示されます。

！ご注意

他社のウイルス対策製品やファイアウォール製品、ウイルスバスターの旧製品などがインストールされている場合は、アンインストールまたは無効化を促すメッセージが表示されます。画面の指示に従って処理を行ってください。

3 使用許諾契約を確認し、同意できる場合は[使用許諾契約書の条項に同意します]を選択して、[次へ]をクリック。



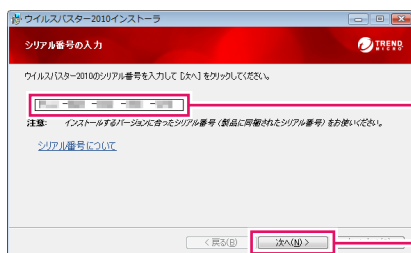
内容を確認する。

[使用許諾契約書の条項に同意します]
(同意できる場合にのみ選択)

[次へ]

[シリアル番号の入力]画面が表示されます。

4 シリアル番号を入力して[次へ]をクリック。

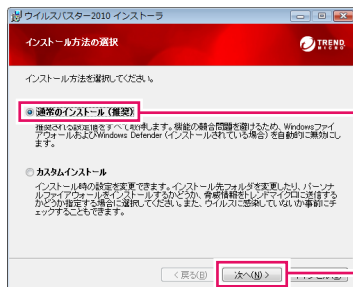


シリアル番号

[次へ]

[インストール方法の選択]画面が表示されます。

5 標準的な設定でインストールする場合は[通常のインストール(推奨)]を選択して[次へ]をクリック。



[通常のインストール(推奨)]

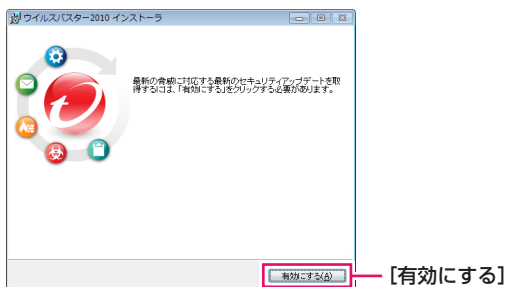
[次へ]

[ウイルスバスター 2010のインストール状況]画面が表示され、インストールが開始されます。

💡 ヒント

- ・ インストール時の設定を変更したい場合は、[カスタムインストール]を選択します。
- ・ インストール中に問題が見つかった場合、コンピュータシステムに関する一部のファイルに対してウイルス検索が実行されます。ウイルスなどの脅威が見つかった場合は、画面の指示に従って問題を解決してください。

6 [有効にする]をクリック。



以上でインストールの手順は終了です。
引き続きオンラインユーザ登録を行ってください。

! ご注意

- ・ Windows XP SP2以降をお使いの場合は、本製品のインストール中に「ウイルスバスター 2010が最新の状態でない可能性があります」というメッセージが表示されることがあります。本製品のインストール完了後にアップデートすることで「最新の状態」になるので、ここではメッセージを無視しても問題ありません。
- ・ コンピュータがインターネットに接続されていない場合、手順6の画面で「有効にする」が表示されず、オンラインユーザ登録も実行されません。この場合は、「閉じる」をクリックしてインストールを完了したあとでインターネットに接続し、メイン画面(22ページ)に表示される「有効にする」をクリックして手続きを行ってください。

💡 ヒント

アンインストールするには？

本製品のアンインストール手順については、「ウイルスバスター 2010のアンインストール方法について」(60ページ)を参照してください。

5 オンラインユーザ登録をする

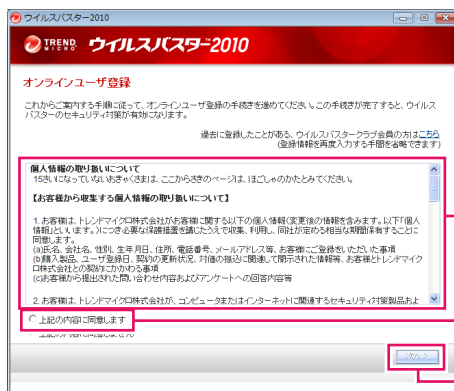
本製品のインストールに続いて、オンラインユーザ登録を行ってください。オンラインユーザ登録をしない間は、本製品のアップデート機能が使えません。

オンラインユーザ登録をはじめる

！ ご注意

- ・ 15歳以下の方は、保護者の同意を得たうえでオンラインユーザ登録をしてください。
- ・ オンラインユーザ登録には、インターネット接続環境が必要です。

1 表示された内容を確認し、同意できる場合は[上記の内容に同意します]を選択して、[次へ]をクリック。



異なる画面が表示されたときは33ページをご覧ください。

内容を確認する。

[上記の内容に同意します]
(同意できる場合にのみ選択)

[次へ]

[登録情報の入力]画面が表示されます。

ヒント

上の画面はインストール後、引き続きオンラインユーザ登録を行った場合に表示されます。オンラインユーザ登録をインストール時に行わなかった場合は、メイン画面を表示して(22ページ)、[現在の状況]の[有効にする]をクリックしてオンラインユーザ登録画面を表示します。

2 必要な情報をすべて入力して[次へ]をクリック。

必要な情報をすべて
入力する。

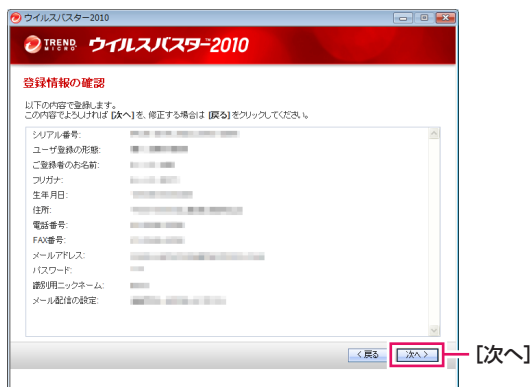
[次へ]

[登録情報の確認]画面が表示されます。

！ご注意

- 必ず正しい情報を入力してください。情報に誤りがあると、契約更新に関するお知らせが郵送されない可能性があります。
- パスワードは、ウイルスバスタークラブにログインするために必要です。大切に保管してください。

3 表示された内容に誤りがなければ[次へ]をクリック。

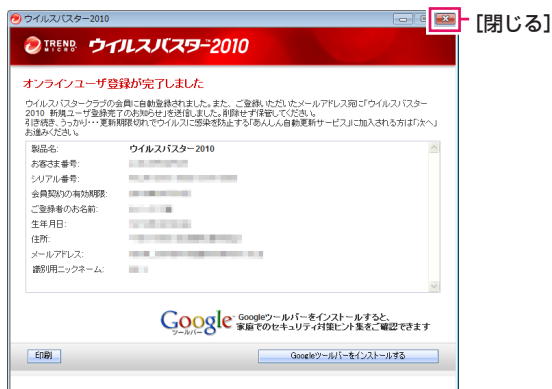


[オンラインユーザ登録が完了しました]画面が表示されます。



内容に誤りがある場合は、[戻る]をクリックして表示される画面で登録情報を修正してください。

4 [X] (閉じる)をクリック。



以上でインストールとオンラインユーザ登録は完了です。

デスクトップ右下の通知領域(タスクトレイ)に本製品のアイコンが表示されていることを確認してください。



ウイルスバスター 2010のアイコン

💡 ヒント

オンラインユーザ登録完了のメールについて

オンラインユーザ登録が完了すると、ウイルスバスタークラブセンターから登録完了をお知らせするメールを送付します。

メールには、次の情報が記載されています。

- ・ シリアル番号
本製品のシリアル番号です。セキュリティ保護のため、上下4桁のみ表示しています。
- ・ お客さま番号
会員用Web「ウイルスバスタークラブ」にログインするときに使用します。
- ・ ウイルスバスタークラブ会員契約の有効期限
記載された有効期限内は、ウイルスバスタークラブの会員特典を受けられます。
- ・ 識別用ニックネーム
同じシリアル番号で登録されているコンピュータを識別するためのニックネームです。

💡 ヒント

オンラインユーザ登録が完了してなくてもアップデートできるのはなぜ？

本製品のオンラインユーザ登録が完了してなくても、3日間に限り最新版にアップデートできます。

その後はオンラインユーザ登録が完了するまでアップデートできなくなります。登録は速やかに行ってください。

6 本製品の起動とメイン画面の表示

本製品は、コンピュータが起動すると自動的に起動してコンピュータの保護を開始します。メイン画面を開くと、ウイルスやスパイウェアの検索を行ったり、設定を変更したりできます。

本製品の起動

本製品は自動的に起動します。このため、起動するための操作は通常必要ありません。

本製品が動作している間は、デスクトップ右下の通知領域(タスクトレイ)に本製品のアイコンが表示されます。



ウイルスバスター 2010のアイコン

ヒント

- ・ 手動で起動する手順は、下記の「メイン画面を表示する」と同じです。
- ・ 通知領域(タスクトレイ)のアイコンは、本製品の動作状況によって表示が切り替わります。詳しくは、「通知領域(タスクトレイ)のアイコン」(25ページ)をご覧ください。
- ・ 通知領域(タスクトレイ)にアイコンが表示されないときは、通知領域(タスクトレイ)左側にある  または  をクリックしてください。

メイン画面を表示する

1 デスクトップ左下の[スタート]をクリック。

[スタート]の形状はWindowsのバージョンによって異なります。



または



[スタート]

スタートメニューが表示されます。

2 [すべてのプログラム]→[ウイルスバスター 2010]→[ウイルスバスター 2010を起動]の順にクリック。

メイン画面が表示されます。



ヒント

メイン画面は通知領域(タスクトレイ)にある本製品のアイコンをダブルクリックしても表示できます。

メイン画面を閉じるには？

メイン画面を閉じるには、画面右上の  (閉じる) をクリックしてください。なお、メイン画面を閉じて、本製品は終了せず、コンピュータの保護が維持された状態となります。



ヒント

本製品を終了するには？

本製品の終了は、ウイルスの侵入や不正アクセスからコンピュータを保護できなくなるためおすすめしません。やむを得ず終了する場合は、「ウイルスバスター 2010を終了するには？」(60ページ)をご覧ください。

7 本製品の画面構成

本製品では、操作や設定の変更をメイン画面で行います。ここでは、本製品の画面構成の概要について説明します。

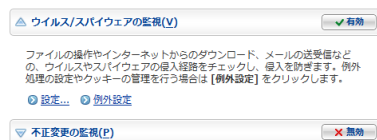
メイン画面の構成



[マイコンピュータ]タブ	メイン画面を開いているコンピュータで使用できる機能が表示されます。
[ホームネットワーク管理]タブ	ホームネットワークを通じて接続されているコンピュータの接続の可否を設定したり、他のコンピュータにインストールされているウィルスバスターを設定したりできます。
カテゴリボタン	本製品の機能が5種類のカテゴリに分類されています。それぞれのボタンをクリックすると、カテゴリの機能が画面の右側に表示されます。
総合セキュリティ状況	コンピュータの保護の状況を確認できます。
検索開始	ウイルスやスパイウェアの検索とセキュリティ診断を行います(28ページ)。
アップデート開始	本製品のアップデートを行います(26ページ)。
その他のツール	その他のツールが表示されます。

各カテゴリの画面について

各カテゴリの設定画面では、各種機能の有効と無効の切り換えや確認、設定の変更などができます。



	クリックして各機能の詳細を表示したり、非表示にしたりします。
	各機能の状態です。クリックして有効と無効を切り換えられます。

ヒント

- 本製品のシリアル番号を確認したい場合は、「シリアル番号を確認したい」(55ページ)をご覧ください。
- それぞれの画面については、[ヘルプとお問い合わせ先]からヘルプを表示したり、それぞれの画面に用意されている[この画面の説明]をクリックして表示される画面で確認してください。

通知領域(タスクトレイ)のアイコン

デスクトップ右下の通知領域(タスクトレイ)に表示されている本製品のアイコンは、状態に応じて、次の5種類に切り替わります。

	通常の状態です。本製品が正常に動作しています。
	ウイルスなどの検索や本製品のアップデートが行われています。
	有効にすることを推奨している機能が無効になっているなど、設定になんらかの問題があります。メイン画面の総合セキュリティ状況を確認して問題を解決してください。
	緊急ロック(53ページ)が有効になっています。
 (グレー)	有効期限が切れています。速やかに契約更新を行ってください。

8 アップデートする

コンピュータを危険にさらすウイルスやスパイウェアなどの脅威は日々進化しています。本製品をアップデートして、最新の脅威に対応できるようにしてください。

初期設定では自動アップデート機能が有効になっています

本製品の初期設定では、アップデートを自動的に行う「インテリジェントアップデート」という機能が有効になっています。このため、通常は手動でアップデートする必要はありません。インテリジェントアップデートの設定を変更する方法についてはヘルプを参照してください。

！ ご注意

アップデートは、インターネットを通じて行われます。インテリジェントアップデートを有効にしている場合は、コンピュータを常にインターネットに接続しておいてください。

手動でアップデートする

！ ご注意

アップデートをする前に、以下のことを確認してください。

- ・ **インターネットに接続していますか？**

アップデートは、インターネットを通じて行われます。

- ・ **オンラインユーザ登録は完了していますか？**

オンラインユーザ登録が完了していないと、アップデートはできません。アップデートの前に、オンラインユーザ登録を行ってください。オンラインユーザ登録についての詳細は、「オンラインユーザ登録をする」(18ページ)を参照してください。

1 メイン画面を表示して(22ページ)、[アップデート開始]をクリック。



[アップデート開始]

アップデートがはじまり、進行状況が表示されます。



アップデートが完了すると進行状況の画面が自動的に閉じて、メイン画面に戻ります。



「Windows ファイアウォールを有効にしますか?」と表示されたときは?

アップデートの内容によっては、一時的にパーソナルファイアウォールを終了する必要があるため、その間は代わりにWindows ファイアウォールを有効にするかどうかを確認する画面が表示されます。この場合は、画面の指示に従ってWindows ファイアウォールを有効にしてください。

「今すぐコンピュータを再起動してもよろしいですか?」と表示されたときは?

アップデートの内容によっては、コンピュータの再起動を促す画面が表示されます。この場合は、画面の指示に従ってコンピュータを再起動してください。

9 ウィルスやスパイウェアを検索する

コンピュータをウイルスやスパイウェアから保護するには、定期的な検索が必要です。本製品は、検索を定期的に自動で行い、コンピュータを保護します。

こんなときには手動での検索が必要です

本製品の初期設定は、定期的にウイルスやスパイウェアを検索する状態になっています。通常、手動で検索する必要はありません。

ただし、以下のような場合はコンピュータにウイルスやスパイウェアが潜んでいる可能性があるため、手動で検索を行ってください。

- 本製品をインストールした直後
- しばらくアップデートを行わなかったとき

手動で検索する

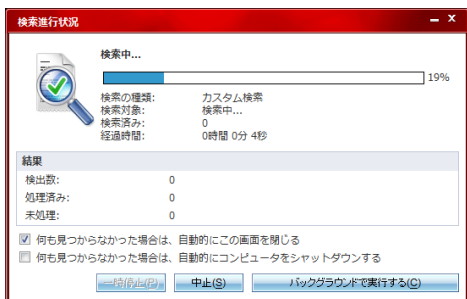
！ ご注意

検索する前に、アップデートを行ってください(26ページ)。

1 メイン画面を表示して(22ページ)、[検索開始]をクリック。



[検索進行状況] 画面が表示されます。



検索が完了すると、検索結果が表示されます。

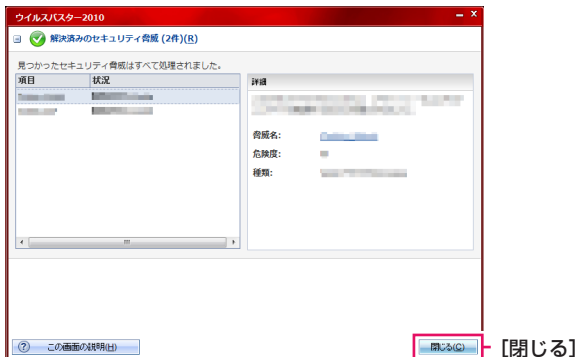
ヒント

何も見つからなかった場合は、自動的に「検索進行状況」画面が閉じられます。「検索進行状況」画面を自動で閉じたくない場合は、[何も見つからなかった場合は、自動的にこの画面を閉じる]のチェックボックスをオフにしてください。

2 検索結果に応じて処理を行う。

ウイルスやスパイウェアが検出された場合は「ウイルスやスパイウェアが見つかったときは」(30ページ)を参照して処理を行ってください。

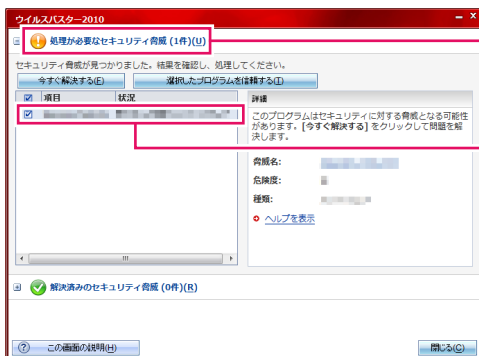
3 処理が完了したら[閉じる]をクリック。



メイン画面に戻ります。

ウイルスやスパイウェアが見つかったときは

- 1 [処理が必要なセキュリティ脅威]に表示されているウイルスやスパイウェアのチェックボックスをオンにする。



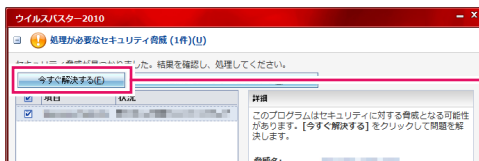
【処理が必要なセキュリティ脅威】

【未処理のウイルスやスパイウェア】

手動で対応が必要なウイルスやスパイウェアは、「処理が必要なセキュリティ脅威」パネルに表示されます。

「処理済みのセキュリティ脅威」パネルに表示されている項目は、すでに対応が完了しています。手動での対応は必要ありません。

- 2 [今すぐ解決する]をクリック。



【今すぐ解決する】

選択した項目が削除されます。

削除しても問題ないかどうか分からない場合は、画面右側の詳細情報を確認してください。

クッキーとは？

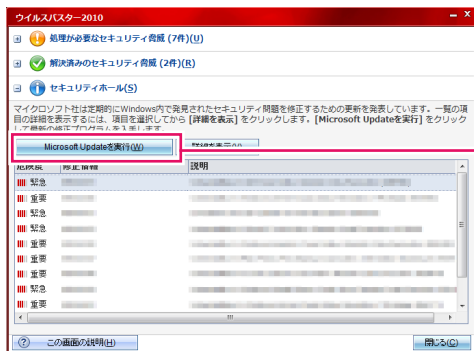
クッキー(cookie)は、Webサイトがユーザの識別や入力情報の保存などの目的でユーザ側のコンピュータに一時的に記録する情報です。一般的にはWebサイトの利便性の向上のために使われますが、広告の効果測定に使われることもあります。クッキーがコンピュータに被害を与えることはありませんが、個人情報の保護という観点からは不適切と思われる使われかたをしているクッキーはスパイウェアの一種として認知されています。

！ ご注意

見つけたスパイウェアが、すべて害のあるものとは限りません。スパイウェアを削除する場合は、必ず詳細情報を確認してください。

セキュリティホールが見つかったときは

セキュリティホールは、セキュリティ上問題があると認知されているソフトウェアの欠陥です。Windowsのセキュリティホールが見つかった場合は、[Microsoft Updateを実行]をクリックしてMicrosoft Updateを行います。



[Microsoft Updateを
実行]

！ ご注意

Microsoft Updateは、マイクロソフト社が提供しているサービスです。不明な点についてはマイクロソフト社にお問い合わせください。

10 <インストール> 2台目以降のコンピュータにインストールする

本製品は、1つのシリアル番号を3台のコンピュータで利用できます。2台目以降のインストールでは、オンラインユーザ登録の手順が変わります。

2台目以降のインストール手順

オンラインユーザ登録以外の手順は、1台目と同じです。

1. 内容物(パッケージ版のみ)と動作条件を確認する

はじめに内容物と動作条件を確認してください(10ページ)。

内容物はパッケージの種類によって異なるのでご注意ください。

* ウイルスバスター for Macについて詳しくは、以下のWebサイトをご確認ください。
<http://VirusBuster.jp>

2. 本製品をインストールする

14ページからの手順に従って本製品をインストールします。

3. オンラインユーザ登録をする

インストールに続いて、オンラインユーザ登録を行います。**ユーザ登録の状況によって手順が異なります。**詳しくは、右ページをご覧ください。
オンラインユーザ登録が完了すると、アップデートを行えるようになります。

4. ウイルスやスパイウェアを検索する

インストールが完了したら、アップデートを行い(26ページ)、ウイルスやスパイウェアの検索を行ってください(28ページ)。本製品のインストール前に侵入していたウイルスやスパイウェアがある場合、この検索で発見、処理できます。

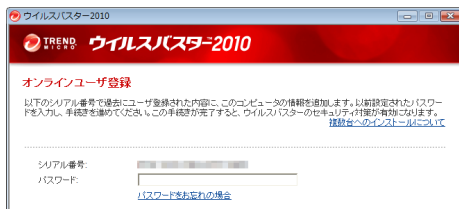
以上でインストールの手順は完了です！

オンラインユーザ登録で表示される画面

オンラインユーザ登録で実際に表示される画面は、過去にオンラインユーザ登録を行っている場合や、すでに3台のコンピュータが登録されている場合で異なります。

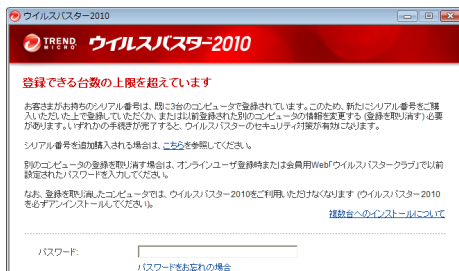
過去にオンラインユーザ登録を行っている場合(1台目～3台目)

過去に登録したオンラインユーザ登録の内容に今回インストールするコンピュータを追加します。



インストール台数が3台を超える場合

過去に登録したコンピュータの登録を削除するか、シリアル番号の追加購入を選択します。



ヒント

過去に本製品をインストールしたことのあるコンピュータをお使いの場合でも、Windowsの再インストール、リカバリなどを行ったあとは、別のコンピュータとして認識されます。このため、本製品を3台以内で利用している場合でも、この画面が表示されることがあります。3台以内でお使いの場合は、シリアル番号の追加購入は行わず、不要な登録情報の削除を行ってください。

11 <メールアドレスや住所などの変更> 登録情報を確認・変更する

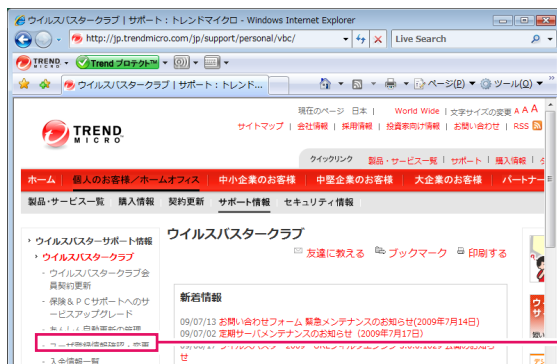
オンラインユーザ登録を行ったあと、引っ越しやプロバイダの変更によって、住所やメールアドレスなどが変わった場合は、速やかに登録情報の確認・変更手続きを行ってください。

ウイルスバスタークラブの登録情報を確認・変更する

登録情報に誤りがあると、契約期間終了のお知らせなどの重要な情報をお届けできなくなったり、お問い合わせ時に本人確認ができなくなったりします。登録情報に変更があった場合は、必ず登録内容を確認し、変更手続きを行ってください。

1 Webブラウザを起動して、会員用Web「ウイルスバスタークラブ」(<http://tmqa.jp/r904/>)を開く。

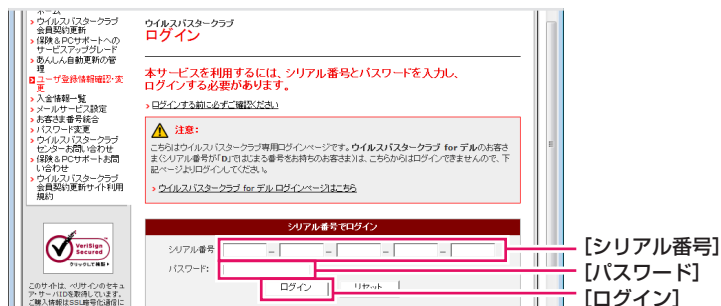
2 [ユーザ登録情報確認・変更]をクリック。



[ユーザ登録
情報確認・
変更]

ログイン画面が表示されます。

3 本製品のシリアル番号とウイルスバスタークラブのパスワードを入力して[ログイン]をクリック。



ユーザ登録情報の確認画面が表示されます。

ヒント

- パスワードはオンラインユーザ登録で入力したものです。
- 本製品のシリアル番号を確認したい場合は、「シリアル番号を確認したい」(55ページ)をご覧ください。

4 画面の指示に従って変更手続きを行う。



ヒント

変更手続きが完了すると、手続きが行われたことをメールでお知らせします。お知らせのメールが届かない場合、登録のメールアドレスに誤りがないかをご確認ください。

12 <契約更新> 契約を更新する

本製品には有効期限があります。有効期限が切れると、本製品およびサポートサービスを利用できなくなるため、有効期限が近づいたら契約を更新してください。

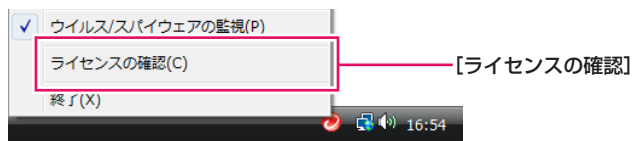
契約の更新とは？

本製品の契約には有効期限があり、期限日が近づくとポップアップメッセージが表示されます(47ページ)。本製品を引き続き使用する場合は契約の更新(有料)を行ってください。

契約を更新することにより、本製品およびサポートサービス、アップデートや最新版の無料提供などの特典も引き続き利用できます。

有効期限の確認方法

- 1 デスクトップ右下の通知領域(タスクトレイ)にある  (25ページ)を右クリック。
- 2 [ライセンスの確認]をクリック。



[登録情報]画面が表示されます。

- 3 有効期限を確認する。



！ご注意

有効期限が過ぎてしまうと本製品およびサポートサービスが利用できなくなります。ウイルスなどの脅威からコンピュータを守ることができなくなってしまうため、契約の更新は早めに行ってください。

💡ヒント

更新方法についての詳細は、個人のお客さまサポートWeb(<http://tmqa.jp/r900/>)を参照してください。

更新方法1：郵送された振込用紙で更新する

1 郵送された振込用紙を確認する。

契約の有効期限の45日前になると、契約更新料をお支払いいただくための振込用紙が郵送されます。

！ご注意

- ・ オンラインユーザ登録の情報に誤りがあると振込用紙が郵送されない可能性があります。登録情報をご確認ください。詳しくは、「ウイルスバスタークラブの登録情報を確認・変更する」(34ページ)をご覧ください。
- ・ 振込用紙を紛失した、または振込用紙の支払い可能期限が過ぎた場合など、振込用紙が新たに必要ときはインターネットからお申し込みいただけます。詳しくは、「更新方法2：インターネットから更新する」(38ページ)をご覧ください。

2 契約更新料を振り込む。

利用可能な店舗を確認し、契約更新料を振り込みます。

3 有効期限が更新されたことを確認する。

「有効期限の確認方法」(36ページ)の手順に従って有効期限が更新されたことを確認します。有効期限は、契約更新料をお支払いいただくと自動で更新、延長されます。更新のための操作は必要ありません。

！ご注意

- ・ 振込用紙でお支払いいただいた場合、有効期限の更新、延長には約1週間かかります。
- ・ ウィルスバスターを無料でバージョンアップするには、別途作業が必要です。詳しくは、「ウイルスバスターを無料でバージョンアップする」(40ページ)をご覧ください。

更新方法2：インターネットから更新する

- 1 「有効期限の確認方法」(36ページ)の手順に従って「登録情報」画面を表示する。
- 2 「契約更新する」をクリック。



「契約更新する」

Webブラウザが起動して、会員用Web「ウイルスバスタークラブ」が表示されます。

- 3 画面の指示に従って手順を進める。

オンラインユーザ登録で登録されているメールアドレスでログインし、更新するシリアル番号、年数を画面の指示に従って選択してください。

ヒント

オンラインユーザ登録を行ったあと、登録メールアドレスの変更手続きを行った場合は、変更後のメールアドレスを入力します。

4 お支払い方法選択画面で更新料のお支払い方法を選択する。

ウイルスバスタークラブ会員契約更新

契約更新TOPに戻る

STEP1 ログイン STEP2 シリアル番号選択 **STEP3 製品と更新年数の選択** STEP4 お支払い方法選択 STEP5 入力情報の確認 STEP6 更新申込完了

更新するシリアル番号

更新するシリアル番号	製品名	有効期間
XXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX	ウイルスバスター + 保険 & PCサポート	2009/6/30
XXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX	ウイルスバスター + 保険 & PCサポート	2009/6/30

更新年数の選択

更新する年数を選択ください。

ウイルスバスター + 保険 & PCサポート 商品詳細

製品	期間	価格
毎年更新より6,133円もお得 ウイルスバスター-契約更新3年 + 保険 & PCサポート	3年	13,980円(税込)
ウイルスバスター-契約更新2年 + 保険 & PCサポート	2年	10,980円(税込)
ウイルスバスター-契約更新1年 + 保険 & PCサポート	1年	6,798円(税込)

お支払い方法の選択へ進む

クレジットカード

ご利用のクレジットカード
でお支払いいただけます。

かんたんコンビニ決済

コンビニでお支払いいた
だけます(振込用紙不要)。

振込用紙

振込用紙を、登録されてい
る住所に郵送します。
コンビニや郵便局でお支払
いただけます。

！ご注意

振込用紙はお届けまでに最大2週間かかります。

5 画面の指示に従って更新手続きを行う。

6 有効期限が更新されたことを確認する。

「有効期限の確認方法」(36ページ)の手順に従って有効期限が更新されたことを確認します。有効期限は、契約更新料をお支払いいただくと自動で更新、延長されます。更新のための操作は必要ありません。

！ご注意

- 振込用紙でお支払いいただいた場合、有効期限の更新、延長には約1週間かかります。
- ウイルスバスターを無料でバージョンアップするには、別途作業が必要です。詳しくは、「ウイルスバスターを無料でバージョンアップする」(40ページ)をご覧ください。

13 <毎年の新バージョン発表> 無料でバージョンアップする

本製品を購入後、新しいバージョンのウイルスバスターが発表された場合、契約の有効期限内であれば無料でバージョンアップできます。

ウイルスバスターを無料でバージョンアップする

！ご注意

- ・バージョンアップを行う前に、メールソフトなどのソフトウェア(Microsoft Outlookなど)をすべて終了してください。
- ・契約更新を行っても自動でバージョンアップはされません。以下の手順に従ってバージョンアップしてください。
- ・以下の手順で掲載しているWebサイトのデザインは変更になることがあります。
- ・無料バージョンアップはインターネットからのダウンロードに限ります。なお、ダウンロードにともなう通信費はお客さまのご負担となります。

1 Webブラウザを起動し、ウイルスバスターの無料バージョンアップWebサイト(<http://tmqa.jp/versionup/>)を表示する。

ウイルスバスターの無料バージョンアップWebサイトが表示されます。

！ご注意

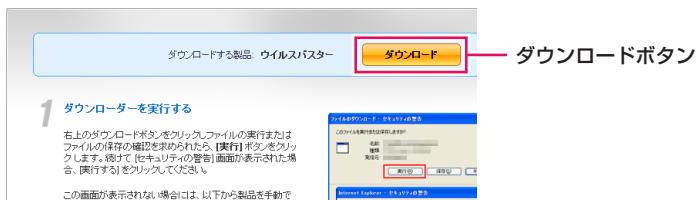
新しいバージョンのウイルスバスターの動作システム要件をご確認のうえ、バージョンアップを行ってください。

2 バージョンアップボタンをクリック。



ウイルスバスターの無料バージョンアップ手順画面が表示されます。

3 ダウンロードボタンをクリック。



4 [セキュリティの警告] 画面が表示された場合は[実行]をクリック。

インストールプログラムのダウンロードが始まります。ダウンロードが完了すると、インストーラが起動します。

！ ご注意

[ユーザーアカウントの制御] 画面が表示された場合は、[続行] または [はい] をクリックしてください。

5 バージョンアップする場合は[はい]をクリック。

インストールが開始されます。
以降は画面の指示に従ってインストールを進めます。

6 デスクトップ右下の通知領域(タスクトレイ)に本製品のアイコンが表示されているのを確認する。

以上でバージョンアップの手順は終了です。
引き続きオンラインユーザ登録(18ページ)を行ってください。

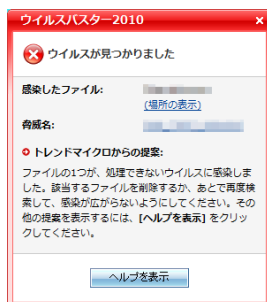
！ ご注意

Windows XP SP2以降をお使いの場合は、本製品のインストール中に「ウィルスバスターが最新の状態でない可能性があります」というメッセージが表示されることがあります。本製品のインストール完了後にアップデートすることで「最新の状態」になるので、ここではメッセージを無視しても問題ありません。

14 <トラブル> メッセージが表示されたときは？

本製品は、何らかの危険を見つけたときや処理を行ったときにメッセージを表示します。危険性の高さはメッセージの枠の色で確認できます。

メッセージの種類



メッセージの色について

メッセージの枠の色は以下の3種類あり、危険性の高さを表しています。

- 危険性が高いときは赤色の枠でメッセージが表示されます。
- 注意を要するときは黄色の枠でメッセージが表示されます。
- 問題が見つかったものの正常に処理できたときなどの報告は青色の枠でメッセージが表示されます。

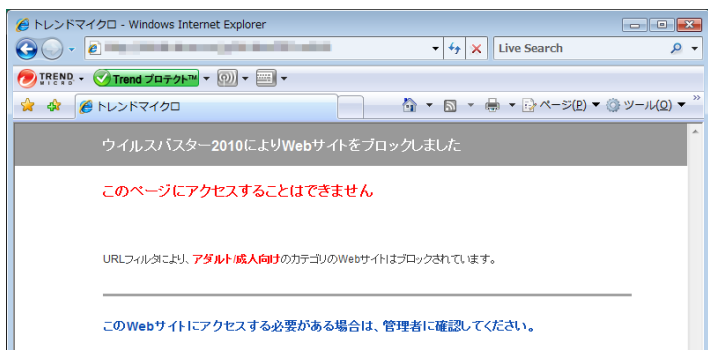
セキュリティレポート

1か月の間に、コンピュータでどのような脅威が見つかったか、また処理を行ったかという履歴などを表示します。

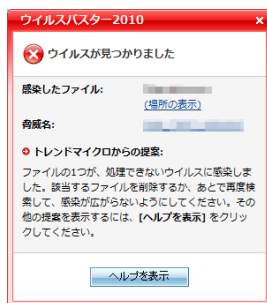


その他のメッセージ

指定された有害サイトや偽装サイトを表示しようとしたときは、Webサイトが以下のような内容に置き換えて表示されます。



ウイルスやスパイウェアに関するメッセージ



ウイルス(トロイの木馬プログラム、スパイウェアの疑い)が見つかりました

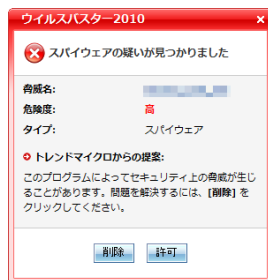
ウイルスやトロイの木馬、スパイウェアの疑いがあるソフトウェアが見つかり、自動で駆除または隔離できない場合に表示されます。

処理方法

- 1 ウイルスやトロイの木馬、スパイウェアの名前をクリック。
- 2 ウイルスデータベースで特徴や処理方法などを確認。
- 3 手動で処理。

ヒント

処理手順について詳しくは、「対処例1：ウイルスが見つかったときは」(48ページ)をご覧ください。

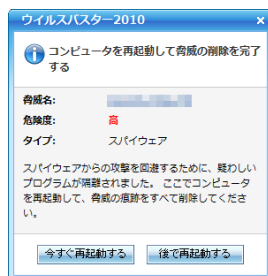


スパイウェアの疑いが見つかりました

スパイウェアの疑いがあるソフトウェアが見つかった場合に表示されます。

処理方法

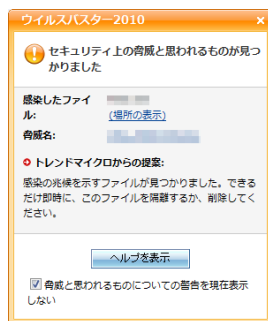
- 1 スパイウェアの名前をクリック。
- 2 ウィルスデータベースで特徴や処理方法などを確認。
- 3 処理を選択。



コンピュータを再起動して脅威の削除を完了する

トロイの木馬やスパイウェアが見つかり、ファイル削除の処理や、改変されたシステム情報の修復を行うために、再起動が必要な場合に表示されます。

通常は[今すぐ再起動する]をクリックしてください。

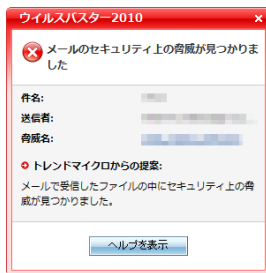


セキュリティ上の脅威と思われるものが見つかりました

ファイルから潜在的な危険が見つかった場合に表示されます。

処理方法

- 1 名前をクリック。
- 2 ウィルスデータベースで特徴や処理方法などを確認。
- 3 手動で処理。

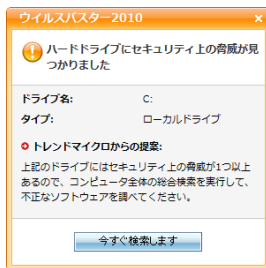


メールのセキュリティ上の脅威が見つかりました(ブロックされました)

メールに添付されているファイルから潜在的な危険が見つかった場合に 표시됩니다。

処理方法

- 1 名前をクリック。
- 2 ウィルスデータベースで特徴や処理方法などを確認。
- 3 手動で処理。

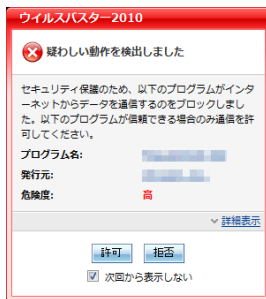


ハードドライブ(ネットワークドライブ、リムーバブル媒体)にセキュリティ上の脅威が見つかりました

接続したハードドライブやネットワークドライブ、リムーバブル媒体から潜在的な危険が見つかった場合に 표시됩니다。

[今すぐ検索します]をクリックしてください。

疑わしい動作や不審な変更に関するメッセージ

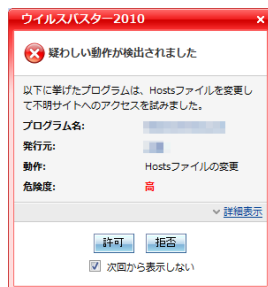


疑わしい動作を検出しました

パーソナルファイアウォールにより、インターネットを通じてデータを受信または送信しようとしているソフトウェアが見つかった場合に 표시됩니다。危険度に応じて赤色、黄色、青色の枠で表示されます。

処理方法

- 1 [詳細を表示]をクリックしてソフトウェアの情報を確認。
- 2 処理を選択。



疑わしい動作が検出されました

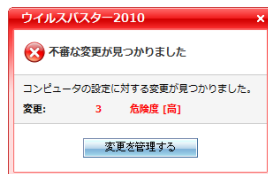
コンピュータの設定に対して、スパイウェアとの関連が疑われる不審な変更が行われた場合に表示されます。危険度に応じて赤色または黄色の枠で表示されます。

処理方法

- 1 [詳細を表示]をクリック。
- 2 プログラムの詳細を確認。
- 3 処理を選択。

ヒント

- ・ 処理手順について詳しくは、「対処例2：疑わしい動作が見つかったときは」(49ページ)をご覧ください。
- ・ ソフトウェアのインストール中に表示された場合は、インストールにともなう設定の変更である可能性があるため、変更を許可することをおすすめします。
拒否したあと、許可に変更する手順について詳しくは、「不正変更の監視で拒否したソフトウェアを許可するには」(62ページ)をご覧ください。



不審な変更が見つかりました

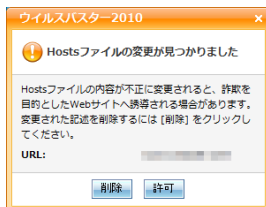
コンピュータの設定に対して、スパイウェアとの関連が疑われる不審な変更が行われた場合に表示されます。危険度に応じて赤色または黄色の枠で表示されます。

処理方法

- 1 [変更を管理する]をクリック。
- 2 変更された内容を確認。
- 3 手動で処理。

ヒント

ソフトウェアのインストール中に表示された場合は、インストールにともなう設定の変更である可能性があるため、変更を許可することをおすすめします。
拒否したあと、許可に変更する手順について詳しくは、「不正変更の監視で拒否したソフトウェアを許可するには」(62ページ)をご覧ください。



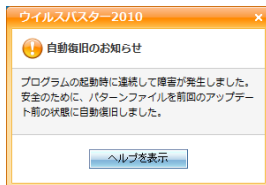
Hostsファイルの変更が見つかりました

Hostsファイルの記述の変更が見つかった場合に 표시됩니다。Hostsファイルの記述を変更した覚えがない場合は[削除]をクリックしてください。

！ご注意

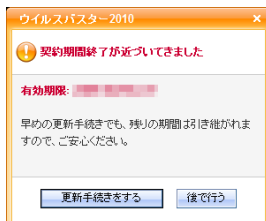
Hostsファイルが書き換えられると、Webブラウザに正しいURLを入力しても詐欺サイトなどの別のWebサイトに誘導されるおそれがあります。

その他のメッセージ



自動復旧のお知らせ

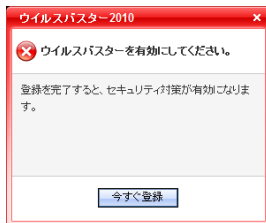
本製品をアップデートした影響によりコンピュータの動作に支障が出ていると判断し、パターンファイルを前回のアップデート時のものに自動復旧した場合に 표시됩니다。自動復旧は完了しているため、操作の必要はありません。



契約期間終了が近づいてきました

契約期間が終了しています

契約の更新が必要です(36ページ)。「契約期間が終了しています」と表示されている場合は、すでに本製品およびサポートサービスを利用できなくなっており、大変危険な状態です。すぐに契約更新を行ってください。



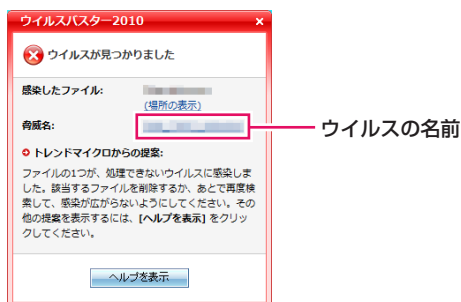
ウイルスバスターを有効にしてください

オンラインユーザ登録など、本製品のアップデート機能を有効にするための手続きが行われていません。画面の指示に従い、アップデート機能を有効にしてください。

対処例1：ウイルスが見つかったときは

検出されたウイルスなどのセキュリティ脅威は、通常は自動で処理されますが、手動での対処が必要な場合があります。以下の手順を参考にして、対処してください。

- 1 「ウイルスが見つかりました」というメッセージが表示されたことを確認する。
- 2 メッセージの内容を確認し、ウイルスの名前をクリック。



Webブラウザが起動し、ウイルスデータベースが表示されます。

- 3 [対応方法]をクリック。

ウイルスの対応方法が表示されます。

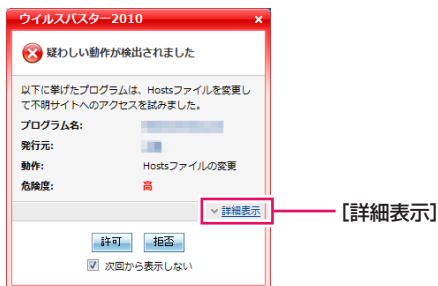


- 4 表示された手順に従って対処する。

対処例2：疑わしい動作が見つかったときは

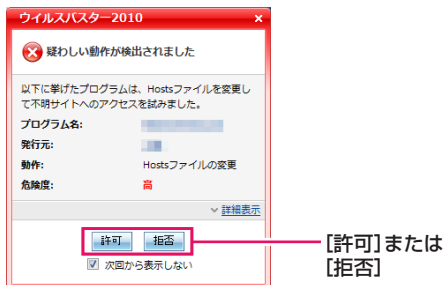
疑わしい動作に関するメッセージが表示された場合は、以下の手順を参考に
して、対応してください。

- 1 「疑わしい動作を検出しました」というメッセージが表示されたことを確認する。
- 2 メッセージの内容を確認し、[詳細表示]をクリック。



疑わしい動作を行ったソフトウェアの情報が表示されます。

- 3 表示された情報を確認し、動作に問題がなければ[許可]を、問題があれば[拒否]を選択する。



ヒント

手順3で[拒否]を選択したソフトウェアの処理を[許可]に変更したい場合は、「不正変更の監視で拒否したソフトウェアを許可するには」(62ページ)をご覧ください。

15 <トラブル> インターネットへの接続で困ったときは？

本製品のインストール後、インターネットに接続できなくなった場合は、以下の点を確認してください。

インターネットに接続できなくなった

本製品の設定によってはインターネットに接続できなくなることがあります。以下の点をご確認ください。

1. パーソナルファイアウォールの設定を確認する

「パーソナルファイアウォールの設定を確認する」(51ページ)の手順に従って、設定を確認してください。

2. 不正変更の監視の設定を確認する

特定のソフトウェアでインターネットに接続できない場合は「不正変更の監視の設定を確認する」(52ページ)の手順に従って、設定を確認してください。

3. フィッシング詐欺対策の設定を確認する

特定のWebサイトが表示できない場合は「フィッシング詐欺対策の設定を確認する」(52ページ)の手順に従って、設定を確認してください。

4. 有害サイト規制の設定を確認する

特定のWebサイトが表示できない場合は「有害サイト規制の設定を確認する」(53ページ)の手順に従って、設定を確認してください。

5. ウイルスやスパイウェアの検索を行う

「ウイルスやスパイウェアを検索する」(28ページ)の手順に従って、ウイルスやスパイウェアの検索を行ってください。

6. 緊急ロックの設定を確認する

「緊急ロックの設定を確認する」(53ページ)に従って、設定を確認してください。

7. 以上を確認しても接続できない場合は……

本製品以外の原因によるものと推測されます。お使いのコンピュータの販売元やご契約のプロバイダにお問い合わせいただくことをおすすめします。

パーソナルファイアウォールの設定を確認する

パーソナルファイアウォールが適切に設定されていないために、インターネットが利用できなくなる場合があります。

以下の手順でいったんパーソナルファイアウォールを無効にして、インターネットに接続できるようになるか確認してください。

！ ご注意

パーソナルファイアウォールを無効に設定すると、警告が表示されることがあります。

- 1 メイン画面を表示する(22ページ)。
- 2 画面左側の[パーソナルファイアウォール]をクリック。
- 3 [パーソナルファイアウォール]の[設定]をクリック。
[パーソナルファイアウォール]画面が表示されます。
- 4 [パーソナルファイアウォールを有効にする]のチェックボックスをオフにする。
- 5 [OK]をクリック。

パーソナルファイアウォールが無効になります。

この状態で、インターネットに接続できない場合は、別の原因が考えられます。[パーソナルファイアウォールを有効にする]のチェックボックスをオンに戻してください。

パーソナルファイアウォールを無効にしてインターネットに接続できるようになった場合は、[パーソナルファイアウォール]画面の[この画面の説明]をクリックしてヘルプを表示し、以下の設定を確認してください。

- Webブラウザやメールソフトなど、種類の異なるソフトウェアでインターネットに接続できない場合は、プロファイルを切り換えたり、プロファイルを初期状態に戻してみてください。
- メールソフトでは接続できないが、Webブラウザでは接続できるというように、一部のソフトウェアでインターネットに接続できなくなっている場合は、パーソナルファイアウォールの例外ルールの設定を確認してください。

不正変更の監視の設定を確認する

不正変更の監視機能が、ソフトウェアの正常な設定変更をブロックしていることにより、インターネットへの接続ができなくなる場合があります。

以下の手順でいったん不正変更の監視を無効にして、インターネットに接続できるようになるかどうか確認してください。

- 1 メイン画面を表示する(22ページ)。
- 2 画面左側の[ウイルス/スパイウェア対策]をクリック。
- 3 [不正変更の監視]の[設定]をクリック。
[不正変更の監視]画面が表示されます。
- 4 [不正変更の監視を有効にする]のチェックボックスをオフにする。
- 5 [OK]をクリック。

この状態でインターネットに接続できない場合は、別の原因が考えられます。[不正変更の監視を有効にする]のチェックボックスをオンに戻してください。

不正変更の監視を無効にしてインターネットに接続できるようになった場合は、[不正変更の監視]画面の[この画面の説明]をクリックしてヘルプを表示し、設定を確認してください。

フィッシング詐欺対策の設定を確認する

フィッシング詐欺対策が適切に設定されていないために、特定のWebサイトが表示できなくなる場合があります。

以下の手順でいったんフィッシング詐欺対策を無効にして、Webサイトが表示できるようになるかどうか確認してください。

- 1 メイン画面を表示する(22ページ)。
- 2 画面左側の[有害サイト/迷惑メール対策]をクリック。
- 3 [フィッシング詐欺対策]の[設定]をクリック。
[フィッシング詐欺対策]画面が表示されます。
- 4 [フィッシング詐欺対策を有効にする]のチェックボックスをオフにする。
- 5 [OK]をクリック。

この状態でWebサイトが表示できない場合は、別の原因が考えられます。[フィッシング詐欺対策を有効にする]のチェックボックスをオンに戻してください。

フィッシング詐欺対策を無効にしてWebサイトが表示されるようになった場合は、[フィッシング詐欺対策]画面の[この画面の説明]をクリックしてヘルプを表示し、設定を確認してください。

有害サイト規制の設定を確認する

有害サイト規制が適切に設定されていないために、特定のWebサイトが表示できなくなる場合があります。

以下の手順でいったん有害サイト規制を無効にして、Webサイトが表示できるようになるかどうか確認してください。

- 1 メイン画面を表示する(22ページ)。
- 2 画面左側の[有害サイト/迷惑メール対策]をクリック。
- 3 [有害サイト規制]の[設定]をクリック。
[有害サイト規制]画面が表示されます。
- 4 [有害サイト規制を有効にする]のチェックボックスをオフにする。
- 5 [OK]をクリック。

この状態でWebサイトが表示できない場合は、別の原因が考えられます。[有害サイト規制を有効にする]のチェックボックスをオンに戻してください。

有害サイト規制を無効にしてWebサイトが表示されるようになった場合は、[有害サイト規制]画面の[この画面の説明]をクリックしてヘルプを表示し、設定を確認してください。

緊急ロックの設定を確認する

デスクトップ右下の通知領域(タスクトレイ)にある本製品のアイコン(25ページ)がになっている場合、緊急ロックが有効になっています。

緊急ロックが有効になっていると、インターネットに接続できません。このアイコンを右クリックすると表示されるメニューから[緊急ロックを解除]を選択し、緊急ロックを解除してください。

インターネットを利用するソフトウェアが使えない

「インターネットに接続できなくなった」(50ページ)の手順に従って原因を確認してください。この手順で原因を特定できない場合は、ソフトウェアの販売元にお問い合わせいただくことをおすすめいたします。

メールが送受信できなくなった

「インターネットに接続できなくなった」(50ページ)の手順に従って原因を確認してください。この手順で原因を特定できない場合は、プロバイダにお問い合わせいただくことをおすすめいたします。

インストールについて知りたい

ここでのインストール方法について詳しくは、「<インストール>2台目以降のコンピュータにインストールする」(32ページ)をご覧ください。

複数のコンピュータでの使用について

本製品は1つのシリアル番号につき最大3台のコンピュータにインストールして使用できます*。

2台目以降は、インストール後にオンラインユーザ登録画面の代わりにアップデート機能を有効にするための画面が表示されるので、指示に従って操作してください。

* 1台にOSが1つの場合。詳しくは、使用許諾契約書をご覧ください。

コンピュータを買い換えたときに必要なことは？

新しいコンピュータに、以前のコンピュータで使用していたシリアル番号で本製品をインストールしてください。新たに本製品を購入する必要はありません。

インストール後にオンラインユーザ登録画面の代わりにアップデート機能を有効にするための画面が表示されるので、指示に従って操作してください。このとき、すでに3台登録されていると表示された場合は、画面の指示に従って以前使っていたコンピュータの登録を解除し、新しいコンピュータの登録を行ってください。

コンピュータを買い増したときに必要なことは？

本製品は1つのシリアル番号につき最大3台のコンピュータにインストールして使用できます*。

シリアル番号をすでに1台以上のコンピュータで使用している場合、インストール後にオンラインユーザ登録画面の代わりにアップデート機能を有効にするための画面が表示されるので、指示に従って操作してください。このとき、すでに3台登録されていると表示された場合は、画面の指示に従って使用していないコンピュータの登録を解除するか、シリアル番号を追加購入してください。

* 1台にOSが1つの場合。詳しくは、使用許諾契約書をご覧ください。

Mac OS Xにインストールしたい

Mac OS X用「ウイルスバスター for Mac」を利用できます。詳しくは、<http://VirusBuster.jp> をご覧ください。

ユーザ登録情報の確認・変更について知りたい

ユーザ登録で設定したパスワードを確認したい

オンラインユーザ登録で設定したパスワードは、会員用Web「ウイルスバスタークラブ」の利用時などに必要となります。

パスワードを忘れてしまった場合は、会員用Web「ウイルスバスタークラブ」の仮パスワード発行フォーム(<http://tmqa.jp/r906/>)を利用してパスワードを再設定してください。

ユーザ登録で設定したメールアドレスの確認・変更をしたい

「ウイルスバスタークラブの登録情報を確認・変更する」(34ページ)を参照して、メールアドレスの確認・変更をしてください。

シリアル番号を確認したい

本製品のシリアル番号は[ヘルプとお問い合わせ先]画面で確認できます。

- 1 メイン画面(22ページ)右上の[ヘルプとお問い合わせ先]をクリック。
[ヘルプとお問い合わせ先]画面が表示されます。
- 2 シリアル番号を確認する。



ヒント

- ・ パッケージ版をお買い上げいただいている場合、シリアル番号はCD-ROMジャケットにも記載されています。
- ・ ダウンロード版をお買い上げいただいている場合、シリアル番号は購入時に販売店から送られてきたメールにも記載されています。

シリアル番号をなくしてしまった場合は、ウイルスバスタークラブセンターまでお問い合わせいただくか、会員用Web「ウイルスバスタークラブ」のシリアル番号確認フォーム(<http://tmqa.jp/r901/>)から、シリアル番号をお問い合わせください。

なお、シリアル番号のお問い合わせの際には、ユーザ登録済みのお客さまのお名前、電話番号、メールアドレスなどが必要になります。ユーザ登録がお済みでない場合、シリアル番号をお調べすることはできません。

契約の更新について知りたい

更新料を支払ったので有効期限が延長されたか確認したい

契約更新料をお支払いいただくと、有効期限は自動で更新、延長されます。更新のための操作は必要ありません。

有効期限の確認方法について詳しくは「有効期限の確認方法」(36ページ)をご覧ください。

！ご注意

振込用紙でお支払いいただいた場合、有効期限の更新、延長には約1週間かかります。

契約更新用の振込用紙が欲しい

「更新方法2：インターネットから更新する」(38ページ)を参照して、「振込用紙でのお支払い」をお申し込みください。お申し込みからお届けまで最大2週間かかります。

有効期間の終了後も手元の振込用紙は使える？

「更新のご案内」としてお送りしている振込用紙は、記載されている支払い可能期日までしかご利用いただけません。支払い可能期日を過ぎてしまった場合には、製品画面または会員用Web「ウイルスバスタークラブ」より再度お申し込みください(38ページ)。

ユーザ登録時に登録したニックネームは削除できる？

削除できません。本製品を2回インストールした場合は、2台のコンピュータ(2つのニックネーム)として登録されますが、そのままお使いください。

3台分が登録されている状態でユーザ登録を行った場合、不要な登録情報を取り消して新たに登録できるため、実際に使用できる台数が減ってしまうことはありません。

無料バージョンアップについて知りたい

最新版のウイルスバスターを入手するには？

ウイルスバスタークラブ会員契約の契約期間中は、ウイルスバスターの無料バージョンアップWebサイト(<http://tmqa.jp/versionup/>)から最新版のウイルスバスターを無料で入手し、バージョンアップできます。

「ウイルスバスターを無料でバージョンアップする」(40ページ)を参照して、最新版のウイルスバスターを入手し、バージョンアップしてください。

新製品の発売後は自動でバージョンアップされる？

されません。本製品のバージョンアップは、会員契約の更新とは別に行う必要があります。

ウイルスバスタークラブ会員契約の契約期間中は、ウイルスバスターの無料バージョンアップWebサイト(<http://tmqa.jp/versionup/>)から最新版のウイルスバスターを無料で入手し、バージョンアップできます。

「ウイルスバスターを無料でバージョンアップする」(40ページ)を参照して、最新版のウイルスバスターを入手し、バージョンアップしてください。

旧製品で使用していたシリアル番号は使える？

ウイルスバスタークラブ会員の契約期間中であれば、旧製品で使用していたシリアル番号をそのまま本製品で使えます。

困ったときの対処について知りたい

Windowsの再インストールやリカバリのときに必要なことは？

再インストールやリカバリの完了後に、本製品のインストールとオンラインユーザ登録の手順を行ってください。

ただし、オンラインユーザ登録の画面の代わりにアップデート機能を有効にするための画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

Windowsをバージョンアップするときに必要なことは？

Windowsをバージョンアップする場合は、以下の手順で行ってください。

- 1 ウイルスバスターの最新版を入手する。
個人のお客さまサポートWeb(<http://tmqa.jp/r900/>)で最新版を入手します。
- 2 現在インストールされているウイルスバスターをアンインストールする。
- 3 Windowsをバージョンアップする。
- 4 ダウンロードしたウイルスバスターをインストールする。
- 5 アップデート機能を有効にする手続きを行う。

インストールのときにメッセージが表示された

「本製品の動作要件を満たしていません」と表示された場合

「本製品の動作環境」(11ページ)を参照して、お使いのコンピュータが本製品の動作要件を満たしているかどうか確認してください。

「(他のソフトウェアを)アンインストールしてもよろしいですか？」と表示された場合

アンインストールしない場合、本製品が正常に動作しない恐れがあります。画面の指示に従って、指定のソフトウェアをアンインストールしてください。

エラーメッセージが表示された場合

表示されたエラーメッセージにリンクがある場合は、リンクをクリックし、表示されたWebサイトで詳細について確認してください。

ウイルスバスター 2010のアンインストール方法について

アンインストールは以下の手順で行ってください。

！ご注意

アンインストールを行うときは、本製品のメイン画面を閉じてください。

- 1 デスクトップ左下の[スタート]メニューから[すべてのプログラム]→[ウイルスバスター 2010]→[ウイルスバスター 2010を削除(アンインストール)]の順にクリック。

[ウイルスバスター 2010 インストーラ]画面が表示されます。

- 2 画面の指示に従ってアンインストールを行う。

本製品がアンインストールされます。

💡ヒント

本製品に設定したパスワードを忘れてしまったときは？

会員用Web「ウイルスバスタークラブ」のお問い合わせページ(<http://tmqa.jp/tm/>)をご覧ください、ウイルスバスタークラブセンターまでお問合せください。

ウイルスバスター 2010を終了するには？

ウイルスバスター 2010を終了すると、ウイルスの侵入や不正アクセスなどからコンピュータを保護できません。コンピュータの電源が入っている間は、本製品を常に起動しておくことをおすすめします。

やむを得ず終了する場合は、画面右下の通知領域(タスクトレイ)にある本製品のアイコンを右クリックし、表示されたメニューから[終了]を選択してください。

💡ヒント

本製品の終了後、再び起動したい場合は、「メイン画面を表示する」(22ページ)の手順を行ってください。

検索するといつもcookieというスパイウェアが見つかる

問題ありません。

クッキー(cookie)は、Webサイトがユーザの識別や入力情報の保存などの目的でユーザ側のコンピュータに一時的に記録する情報です。

クッキーがコンピュータに被害を与えることはありませんが、広告の効果測定などの目的で、個人情報の保護という観点からは不適切と思われる使われかたをしていることもあるため、スパイウェアとして検出しています。

受信したメールの添付ファイルが表示されない

Outlook Expressを使用して、「次の添付ファイルは安全でないため、メールからのアクセスが削除されました」と表示される現象は、本製品ではなく、Outlook Expressによるものです。本製品をインストールしている場合は、以下の手順でOutlook Expressの設定を変更してください。

- 1 Outlook Expressを起動する。
- 2 [ツール]→[オプション]の順にクリック。
[オプション]画面が表示されます。
- 3 [セキュリティ]タブをクリックし、[ウイルスの可能性のある添付ファイルを保存したり開いたりしない]のチェックボックスをオフにして、[OK]をクリック。

通知領域(タスクトレイ)にアイコンが見あたらない

画面右下の通知領域(タスクトレイ)にアイコンが表示されないときは、通知領域(タスクトレイ)左側にある  または  をクリックしてください。

また、通知領域(タスクトレイ)に表示されるアイコンの形状については、25ページをご覧ください。

初期設定で無効になっている機能があるが問題ない？

問題ありません。トレンドマイクロが推奨する機能はあらかじめ有効に設定されています。無効になっている機能は、機能を確認し、必要がある場合にお使いください。

インストールしたらコンピュータの動作が遅くなった

ウイルスの侵入を未然に防止するには、プログラムやファイルの動きを常に監視する必要があります、そのためにはコンピュータに若干の負荷がかかります。このため、ウイルス対策を行っていない環境と比較した場合、多少の動作速度の差が発生します。

不正変更の監視で拒否したソフトウェアを許可するには

不正変更の監視機能で検出されたソフトウェアの処理方法で、[拒否]を選択してしまった場合、以下の手順で[許可]に変更できます。

- 1 メイン画面を表示する(22ページ)。
- 2 画面左側の[ウイルス/スパイウェア対策]をクリック。
- 3 [不正変更の監視]の[例外設定]をクリック。
[例外設定]画面が表示されます。
- 4 目的のソフトウェアを選択し、[開く]をクリック。
- 5 追加したソフトウェアの処理方法で[許可]を選択する。
- 6 [OK]をクリック。

期間限定版から製品版への移行について知りたい

製品版に移行するには？

ウイルスバスターを期間限定版から製品版に移行するには、以下の手順で操作してください。

- 1 メイン画面を表示する(22ページ)。
- 2 画面左側の[契約更新/その他]をクリック。
- 3 [オンラインユーザ登録/契約更新]の[アップグレード]をクリック。
- 4 表示された画面の[購入ページへ]をクリック。
- 5 画面の指示に従ってウイルスバスターを購入する。
- 6 表示されたままになっている手順4に切り換えて、購入した製品のシリアル番号を入力し、[登録する]をクリック。
- 7 オンラインユーザ登録を行う。
オンラインユーザ登録の手順については、「オンラインユーザ登録をする」(18ページ)を参照してください。

用語集

- アルファベット -

Hostsファイル(ホスト-)

ホスト名(ドメイン名)とIPアドレスの対応が記載されているファイルです。通常、ホスト名とIPアドレスの対応はコンピュータがDNSサーバに問い合わせることで確認されるため、このファイルが使われることはあまりありません。

ただし、WindowsではHostsファイルの記載がDNSサーバへの問い合わせ結果より優先されます。このため、Hostsファイルを書き換えて正規のアドレスを入力しても偽のWebサイトが表示されるようにする「ファームウェア詐欺」に利用されることがあります。

本製品はHostsファイルの改変も検出できます。

IPアドレス(アイピー-)

ネットワークにおいて個体を識別するための番号で、IPは、Internet Protocolの略です。「192.168.0.1」のように、4組の数字で構成されます。

IPアドレスは、外部に接続しないネットワークで利用できるプライベート(ローカル) IPアドレスと、外部に接続できるグローバルIPアドレスの2種類に分類できます。グローバルIPアドレスはプロバイダなどから割り当てられるものを使用します。

POP3(ポップスリー)

メールソフトがメールサーバに保管されたメールを取得するためのプロトコル(通信手順の規格)で、Post Office Protocol Version 3の略です。

SMTP(エスエムティーピー)

メールソフトからメールサーバまたはメールサーバどうしでメールを転送するためのプロトコル(通信手順の規格)で、Simple Mail Transfer Protocolの略です。

URLフィルタ(ユーアールエル-)

特定のWebサイトの表示を防止する本製品の機能です。表示の防止は、カテゴリの指定やURLの指定により行えます。

Webメール(ウェブ-)

メールの送受信をWebブラウザで行えるサービスです。送受信したメールはサービス提供会社のサーバに保管されるため、場所を問わずに利用できます。

Microsoft Update(マイクロソフトアップデート)

Windowsの安定性と安全性を向上させるために、マイクロソフト社が提供しているサービスです。

Windows ファイアウォール(ウィンドウズ-)

Windows XP以降に標準で搭載されているファイアウォール機能です。Windowsファイアウォールでは内部から外部への通信に制限がなく、ファイアウォールとしては簡易的なものと言えます。

- あ -

圧縮ファイル

データ量を減らすために形式を変換したファイルです。データ量を減らすための変換を圧縮、元に戻すことを解凍と呼ぶことが一般的です。圧縮形式(変換形式)としてはzip形式、lzh形式などがあり、圧縮・解凍ソフトで、圧縮および解凍を行います。圧縮・解凍ソフトはアーカイブソフト、アーカイバとも呼ばれます。

本製品は一般的な圧縮形式に対応しており、圧縮ファイルの中のウイルスも見つけられます。

アップデート

機能の向上や問題点の修正などを目的として、ソフトウェアを構成するファイルの一部を差し替えることです。

インスタントメッセージ

ユーザ間でリアルタイムに短いメッセージをやりとりできるソフトウェアの総称です。ファイル送受信、音声通話、ビデオチャットなどを備える高機能なものもあります。

インテリジェントアップデート

本製品のアップデートを自動的に行う機能です。設定された間隔でアップデートの有無を確認し、アップデートできる場合は自動で行います。インテリジェントアップデートを利用する場合、インターネットに常に接続されている必要があります。

ウイルス

コンピュータに悪影響を与える不正ソフトウェアの一種です。どのような悪影響があるかはウイルスによって異なりますが、典型的な例としては、コンピュータに侵入してデータの破壊などの活動を行い、自らをコピーしてネットワークやメールなどの手段を用いて別のコンピュータへと被害を広げようとするものが挙げられます。

ウイルスバスタークラブ

本製品のサポートサービスです。オンラインユーザ登録によって会員として登録され、さまざまな会員特典を利用できるようになります。

お客さま番号

本製品のユーザ登録時に発行される番号です。[J-XX-XXXXXXXX](Xは数字)のような形で、登録完了のお知らせメールに記載されています。ウイルスバスタークラブへのお問い合わせや登録内容の変更などで必要となる大切な番号です。必ず控えておいてください。

オンラインユーザ登録

本製品のユーザ登録をインターネット経由で行う機能です。

- か -

隔離

ウイルスやウイルスに感染したファイルが動作しないようにする処理です。隔離したものがコンピュータに悪影響を与えることはありません。隔離したファイルは[ウイルス/スパイウェア対策]画面の[隔離ファイルの管理]で元に戻したり、削除したりできます。

感染

ウイルスが侵入し、実行されたか実行できる状態にあることです。

緊急ロック

ネットワーク接続を一時的に切断する本製品の機能です。ウイルス感染や不正アクセスの被害拡大を防ぐ目的などで使用します。

駆除

ウイルスを削除したり、ファイルからウイルスを取り除いたりする処理です。駆除に成功したファイルは安全に開けます。

契約更新

本製品の契約を更新することです。本製品の契約には期限があり、期限が切れてしまうと本製品およびサポートサービスを利用できなくなってしまいます。契約期限のお知らせが表示された場合は、速やかに更新手続きを行うようにしてください。

更新パック

ウイルスバスターの最新版と契約更新がセットになったパッケージです。

- さ -

詐欺メール

金融機関などを装って送りつけられるメールです。メール内のリンクをクリックすると、あらかじめ用意されている偽サイトに誘導されるので注意が必要です。

シリアル番号

正規の方法で購入された製品に発行される固有の番号です。シリアル番号は、パッケージ版ではCD-ROMのジャケットに、ダウンロード版では購入時に販売店から送られてきたメールに記載されています。ウイルスバスタークラブへのお問い合わせや登録内容の変更などで必要となる大切な番号です。必ず控えておいてください。

ウイルスバスタークラブの会員契約期間中にウイルスバスターがバージョンアップした場合、本製品のシリアル番号を使用して、最新のウイルスバスターをインストールできます。

スパイウェア

コンピュータに悪影響を与える不正ソフトウェアの一種です。ウイルスとの違いは個人情報収集や広告表示の強制などを主な目的としている点です。多くのスパイウェアは、ウイルスが持つようなほかのコンピュータへの感染活動は行わず、便利なソフトウェアと称してインストールを要求するなどして、コンピュータに侵入します。

セーフモード

Windowsの起動形態の1つで、通常の方法では起動しなくなったときなど、問題が発生した場合の解決に使用します。最小限のソフトウェア構成で起動するため、問題が起きていても多くの場合で起動できます。

セキュリティホール

ソフトウェアの設計ミスなどで生じたセキュリティ上問題のある欠陥です。

- た -

トロイの木馬

コンピュータに悪影響を与える不正ソフトウェアの一種です。コンピュータに侵入すると、バックドアと呼ばれる不正な侵入経路を作り、コンピュータを外部から操作できるようにするなどします。

- な -

ネットワークウイルス

OSを始めとするソフトウェアのセキュリティホールに乗じてコンピュータに侵入するウイルスです。ネットワークを通じてほかのコンピュータに接続し、セキュリティホールを悪用して感染するため、急速に被害が広がります。Microsoft Updateで提供される更新プログラムをきちんと適用してセキュリティホールをなくしておくことが重要です。

- は -

バージョンアップ

ソフトウェアの設計や操作性を見直すなどの大きな改定を行ったときに、バージョンを改めることです。また、古いバージョンのソフトウェアを新しいバージョンのものと入れ替える作業もバージョンアップと呼ばれます。

ウイルスバスターでは、ウイルスバスター 2009からウイルスバスター 2010に入れ替えることがこれにあたります。

パターンファイル

本製品を構成するファイルの1つで、既知のウイルスやスパイウェアの特徴(パターン)を記録したものです。パターンファイルは本製品がウイルスやスパイウェアの判定を行う際の判定手段となります。

ファイアウォール

コンピュータとネットワークの間でのデータのやり取りを監視し、コンピュータを外部の攻撃などから守る機能です。

本製品が搭載しているパーソナルファイアウォールは、ソフトウェアやプロトコル、ポート番号に対し、それぞれ送受信の方向を指定して制御できます。

フィッシング詐欺

金融機関などを装ったメールを送りつけるなどして偽のWebサイトへと誘導し、ログイン情報やクレジットカード情報などをだまし取ろうとする詐欺です。情報を釣り上げることから英語では「fishing」を言い換えた「phishing」と表記します。

本製品はフィッシング詐欺に利用されているWebサイトを検出し、警告を表示します。

不正侵入

不正な手段でコンピュータに接続し、コンピュータ内のデータを抜き取ったり、コンピュータを悪用したりすることです。不正アクセスとも呼びます。

プロフィール

本製品では、通信環境に応じて切り替えられるファイアウォールの設定を指します。

- ま -

無線LAN

無線通信でデータを送受信するLANのことです。家庭では無線LANのアクセスポイント機能を持ったルータを設置して利用することが一般的です。LANケーブルによる接続とは異なり、家の外から第三者に接続されてしまうおそれがあるため、セキュリティ対策をきちんと施すことが重要です。

迷惑メール

受信者の意思を無視して送りつけられる広告メールなどの総称です。SPAM(スパム)とも呼ばれます。

- や -

予約検索

ウイルス検索などを設定された周期で行う本製品の機能です。スパイウェアの検索やセキュリティ診断も行えます。

- ら -

リアルタイム検索

ファイルの読み込みや書き込みを常に監視し、ウイルスに感染している場合は適切な処理を行う本製品の機能です。

ルータ

異なるネットワークの間を接続するための機器です。家庭では、ADSLや光ファイバ接続(FTTH、Fiber To The Home)の接続に使用するブロードバンドルータと呼ばれるルータを指すことがほとんどです。

ログ

本製品では、過去に検出されたウイルスやアップデートの実行日時などを記録した履歴を指します。ログによって、本製品が過去にどのような処理を行ったかを確認できます。

索引

アルファベット

cookie	31, 61
Hostsファイル	64
Mac	6, 54
Microsoft Update	31, 64
URLフィルタ	64
Windows ファイアウォール	27, 65

あ

アイコン	25
アップデート	26, 65
アップデート開始	24
インスタントメッセージャー	65
インストール	14, 32, 41, 54
インストールの流れ	8
インテリジェントアップデート	26, 65
ウイルス	28, 65
ウイルスが見つかったとき	30, 48
ウイルスバスタークラブ	65
お客さま番号	66
お問い合わせ先	72
オンラインユーザ登録	18, 33, 55, 66

か

隔離	66
カテゴリボタン	24
画面構成	24
感染	66
期間限定版	63
起動	22
緊急ロック	66
駆除	66
クッキー	31, 61
契約の更新	36, 57, 66
検索	28
検索開始	24
更新パック	66

さ

詐欺メール	67
終了	60
手動検索	28
シリアル番号	10, 55, 58, 67
スパイウェア	28, 67
スパイウェアが見つかったとき	30
セキュリティホール	67
セキュリティホールが見つかったとき	31
セキュリティレポート	42
総合セキュリティ状況	24
その他のツール	24

た

タスクトレイ	25
通知領域	25
動作環境	11
登録情報の確認・変更	34
閉じる	23
トロイの木馬	67

な

内容物	10
ネットワークウイルス	68

は

バージョンアップ	40, 58, 59, 68
パスワード	55
パターンファイル	68
開く	22
ファイアウォール	68
フィッシング詐欺	68
振込用紙	39, 57
プロファイル	69
[ホームネットワーク管理] タブ	24

ま

[マイコンピュータ] タブ	24
迷惑メール	69
メイン画面	22, 24
メッセージの種類	42

や

有効期限	36, 57
予約検索	69

ら

リアルタイム検索	69
----------------	----

本製品のお問い合わせ先

本製品についてのお問い合わせについてはこちらをご覧ください。

お問い合わせの前に

本製品では、オンラインヘルプやサポート情報Web、ウイルスバスター相談室などを通じて、よくあるお問い合わせについての情報や、問題解決につながる情報をご提供しています。

お問い合わせの前に、巻末の「問題解決に役立つ情報源」に掲載されている情報をご覧ください。ことをおすすめいたします。

お問い合わせ先

本製品では、メールによるお問い合わせやチャット(文字での会話)によるお問い合わせのほか、FAXや電話によるお問い合わせも受け付けています。

お問い合わせに関する情報については、会員用Web「ウイルスバスタークラブ」のお問い合わせページからご確認ください。

お問い合わせページでは、問題解決につながる情報や問題の種類ごとに最適なお問い合わせ方法をご案内しています。

会員用Web「ウイルスバスタークラブ」(お問い合わせページ)

<http://tmqa.jp/tm/>



※注意事項

トレンドマイクロへのお客様情報の送信について

・「Webレピュテーションサービス」「フィッシング詐欺対策」「URLフィルタ」では、Webサイトの安全性の判定のために、お客様がアクセスしたURLの情報等(ドメイン、IPアドレス等を含む)を暗号化してトレンドマイクロのサーバに送信します。

サーバに送信されたURL情報は、Webサイトの安全性の確認、および本機能の改良の目的にのみ利用されます。

また、これらの機能を有効にしたうえで、コモンゲートウェイインタフェースアプリケーションを使用しているサーバで構築されているWebサイトにアクセスし、ID、パスワード等を入力した場合には、お客様がアクセスしたWebページのURLにお客様が入力したID、パスワード等が含まれた状態でトレンドマイクロのサーバに送信される場合があります。この場合、トレンドマイクロでは、お客様がアクセスするWebページの安全性の確認のため、これらのお客様より受領した情報にもつづき、お客様がアクセスするWebページのセキュリティチェックを実施します。

・「ファイルレピュテーションサービス」では、ファイルの安全性の判定のために、ファイルのハッシュ値等の情報をトレンドマイクロのサーバに送信します。ファイルそのものや、ファイルの内容に関する情報は送信しません。

・「ソフトウェア安全性評価サービス」では、プログラムの安全性の判定のために、プログラムの情報をトレンドマイクロのサーバに送信します。

・「ウイルストラッキング/TrendCareプログラム」では、検出されたウイルス/脅威名、検出数、国/地域、感染元となったWebサイトのURLを、統計を取るためにトレンドマイクロのサーバに送信します。

・「迷惑メール対策ツール」では、弊社製品の改良の目的および迷惑メールの判定精度の向上のため、トレンドマイクロのサーバに該当メールを送信します。また、迷惑メールの削減、迷惑メールによる被害の抑制を目指している政府関係機関に対して迷惑メール本体を開示する場合があります。

・「E-mailレピュテーションサービス」では、スパムメールの判定のために、送信元のメールサーバの情報等をトレンドマイクロのサーバに送信します。

・「スマートフィードバック」では、脅威に関する情報を収集、分析し保護を強化するために、ファイルのチェックサム、アクセスされたWebアドレス、サイズやパス等のファイル情報、実行ファイルの名前等の情報をトレンドマイクロのサーバに送信します。

輸出規制について

・本製品は、外国為替及び外国貿易法、U.S. Export Administration Regulations、およびその他の国における輸出規制品目に該当している場合があります。したがって、本製品が輸出規制品目に該当する場合、適正な政府の許可なくして、禁輸国もしくは貿易制裁国の企業、居住者、国民、または、取引禁止者、取引禁止企業に対して、輸出もしくは再輸出できません。このような規制についての情報は以下のWebサイトから見つけることができます。

[<http://www.treas.gov/ofac/>], および [<http://www.bis.doc.gov/complianceandenforcement/ListsToCheck.htm>]

2008年12月現在、米国により定められる禁輸国は、キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリアが含まれています。

あなたは本製品に関連した米国輸出管理法令の違法行為に対して責任があります。本契約の同意により、あなたは、あなたが米国により現時点で禁止されている国の居住者もしくは国民ではないこと、別途本製品を受け取ることが禁止されていないことを確認します。また、大量破壊を目的とした、核兵器、化学兵器、生物兵器、ミサイルの開発、設計、製造、生産を行うために使用しないことに同意します。

著作権について

本書に関する著作権は、トレンドマイクロ株式会社へ独占的に帰属します。トレンドマイクロ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態および手段を問わず、本書またはその一部を複製することは禁じられています。本ドキュメントの作成にあたっては細心の注意を払っていますが、本書の記述に誤りや欠落があってもトレンドマイクロ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。本書およびその記述内容は予告なしに変更される場合があります。

商標について

TRENDMICRO、ウイルスバスター、ウイルスバスター On-Line-Scan、PC-cillin、InterScan、INTERSCAN VIRUSWALL、ISVW、InterScanWebManager、ISWM、InterScan Message Security Suite、InterScan Web Security Suite、IWSS、TRENDMICRO SERVERPROTECT、PortalProtect、Trend Micro Control Manager、Trend Micro MobileSecurity、VSAPI、トレンドマイクロ・プレミアム・サポート・プログラム、License for Enterprise Information Security、LEISec、Trend Park、Trend Labs、InterScan Gateway Security Appliance、Trend Micro Network VirusWall、Network VirusWall Enforcer、Trend Flex Security、LEAKPROOF、Trendプロテクト、Expert on Guard、InterScan Messaging Security Appliance、InterScan Web Security Appliance、InterScan Messaging Hosted Security、DataDNA、Trend Micro Threat Management Solution、Trend Micro Threat Management Services、Trend Micro Threat Management Agent、Trend Micro Threat Mitigator、Trend Micro Threat Discovery Appliance、Trend Micro USB Security、InterScan Web Security Virtual Appliance、InterScan Messaging Security Virtual Appliance、Trend Micro Reliable Security License、TRSL、Trend Micro Smart Protection Network、Smart Protection Network、およびSPNIは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

本書に記載されている各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

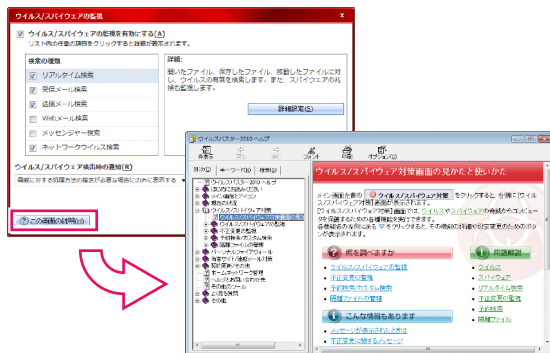
Copyright © 1995-2009 Trend Micro Incorporated. All rights reserved.

P/N : VB2010-AE0101 (2009/07)

問題解決に役立つ情報源

オンラインヘルプで問題解決

本製品の画面には[この画面の説明]というボタンがあります。このボタンをクリックすると、その画面に関するヘルプトピックが表示されます。また、メイン画面の[ヘルプとお問い合わせ先]をクリックして表示することもできます。



「ウイルスバスター相談室」で問題解決

<http://tmqa.jp/>

はじめてウイルスバスターを利用する方向けに、セキュリティの基礎知識やウイルスバスターの機能、サービスをわかりやすく解説しています。



サポート情報Webで問題解決

個人のお客さまサポートWeb

<http://tmqa.jp/r900/>

本製品の最新情報や、お問い合わせの多い質問への回答などをお調べいただけます。

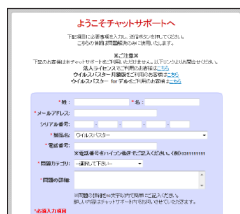


チャットサポートで問題解決

チャットサポート

<http://tmqa.jp/r916/>

チャット(文字での会話)を利用して、サポートスタッフがマンツーマンでお問い合わせにお答えします。



その他の方法で問題解決

ほかにも、問題解決に役立つWebサイトを公開しています。

会員用Web「ウイルスバスタークラブ」

<http://tmqa.jp/r904/>

ユーザ登録情報の変更や契約更新などの各種手続きがその場でできます。



サイトナビゲーター

<http://trendmicro.directanswer.jp/index.asp>

選んでクリック。お客さまをお探しの情報までご案内します。



ウイルスバスターに関するお問い合わせ

お問い合わせの前に(問題解決に役立つ情報源のご案内)

トレンドマイクロでは、よくあるお問い合わせについての情報をさまざまな方法で提供しています。困ったこと、わからないことがあった場合は、このページをめくって「問題解決に役立つ情報源」をご参照いただき、お役立てください。

お問い合わせ先

情報を参照しても解決しなかった場合は、下記のWEBページをご覧ください、お問い合わせください。

なお、ブラウザを開いてインターネットの検索エンジン(Yahoo!やGoogle)で「ウイルスバスターお問い合わせ」と検索しても、お問い合わせページへアクセスすることができます。

<http://tmqa.jp/tm/>